

西東京市図書館計画

(令和6年度～令和10年度)

令和6年3月
西東京市教育委員会

目 次

第1章 計画の概要

- 1 計画の目的と背景
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画期間

第2章 前図書館計画における取組について

- 1 「基本方針1 資料の収集と保存の充実」の取組
- 2 「基本方針2 すべての市民に活用されるために」の取組
- 3 「基本方針3 西東京市の文化・歴史を次世代に継承する」の取組
- 4 「基本方針4 未来を担う子どもの読書活動の支援」の取組
- 5 「基本方針5 地域、行政と連携した図書館サービスの向上」の取組
- 6 「基本方針6 効率的・効果的な運営体制の構築」の取組

第3章 利用登録・アンケートにおける現状について

- 1 利用登録等における現状と課題
- 2 利用者アンケートにおける図書館への評価と新たな課題

第4章 計画の基本的な考え方

- 1 基本理念
- 2 基本方針
- 3 計画の体系

第5章 基本方針に基づく施策の方向性

- 基本方針1 資料の収集と保存を充実するために
- 基本方針2 すべての市民に活用されるために
- 基本方針3 西東京市の文化・歴史を次世代に継承するために
- 基本方針4 未来を担う子どもの読書活動を支援するために
- 基本方針5 地域との協働、行政との連携を構築・向上するために
- 基本方針6 図書館の運営体制・サービス基盤を充実させるために

第6章 西東京市図書館の新図書館構想について

- 1 西東京市民と図書館
- 2 西東京市図書館の現状と課題
- 3 これからの西東京市図書館構想

資料編

- ・西東京市図書館資料収集基準
- ・西東京市図書館計画策定懇会設置要綱
- ・西東京市図書館計画策定懇談会委員名簿
- ・西東京市図書館計画策定懇談会会議開催状況
- ・私たちの望む西東京市の図書館
- ・西東京市図書館のあゆみ

第1章 計画の概要

1 計画の目的と背景

(1) 計画の背景

国全体として少子高齢化社会が進み、国の総人口は、平成 20 年（2008 年）をピークに減少傾向に転じています。西東京市においては、平成 29 年度（2017 年）年に人口が 20 万人を超え、人口増加を続けていましたが、今後緩やかに人口減少に転じることが予測されています。（「西東京市人口推計調査報告書」令和 4 年 11 月より）

令和 2 年以降、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行によって、社会経済活動や日常生活が大きく制約されるなか、新しい生活様式が求められ、その後 After コロナとして、人々のライフスタイルに少なからず影響を与えています。自治体のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進の取り組みとともに、学校教育においては、国の GIGA スクール構想による児童・生徒に一人 1 台のタブレット端末の整備が一気に進み、西東京市内では全児童・生徒に行き渡りました。

さらに、インターネット上で人工知能（AI）を用いた自然な文章を生成する（ChatGPT）が令和 4 年（2022 年 11 月）に公開され、急速に普及してきており、幅広い分野で活用されるようになっていきます。

国の法整備においては、令和元年（2019 年）6 月に「読書バリアフリー法＝視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」が成立したことにより、障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするため、様々な障害のある方が、利用しやすい形式で本の内容にアクセスできる社会を目指すこととなりました。

(2) 計画の目的

西東京市図書館は、継続的に安定した運営を行うために、平成 30 年度に「西東京市図書館計画（平成 31（2019）年度～2023 年度）」（以下、「前図書館計画」という。）を策定し、様々な事業を実施してきました。

中央図書館の耐震改修、開館時間の延長、西東京市デジタルアーカイブ、西東京市子ども電子図書館の導入など、利用しやすい図書館を目指し取り組みを進めてきました。

また、市の最も上位計画である第 3 次西東京市総合計画（以下「総合計画」という。）が令和 6 年度に策定されることから、総合計画の基本理念、策定趣旨に沿いながら、図書館計画の上位計画である教育基本計画（令和 6～10 年度）の教育目標、基本方針及び方向に基づく施策と取組事業に図書館として関わり役割を果たす必要があります。

令和 5 年度に現行の前図書館計画が終了となることから、少子高齢社会、高度情報通信ネットワーク社会など、図書館を取り巻く環境の変化を踏まえ、市民の期待や要望に的確に応え、知識・情報の拠点として、今後 5 年間の図書館として取り組むべき事業を示すため、令和 6 年度から令和 10 年度までを計画期間とする「西東京市図書館計画」を新たに策定します。

2 計画の位置づけ

本計画は、「西東京市第3次総合計画」「西東京市教育計画」その他関連する計画を踏まえ、中長期的な視野に立った望ましい図書館のあり方を含めて、これからの図書館活動を推進するための計画として位置づけます。

西東京市図書館計画（平成31（2019）年度～2023年度）の位置づけ

H21 年度 (2009)	H22 年度 (2010)	H23 年度 (2011)	H24 年度 (2012)	H25 年度 (2013)	H26 年度 (2014)	H27 年度 (2015)	H28 年度 (2016)	H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R01 年度 (2019)	R02 年度 (2020)	R03 年度 (2021)	R04 年度 (2022)	R05 年度 (2023)
					第2次総合計画 (基本構想・基本計画)									
											第2次総合計画 後期基本計画			
教育基本計画					教育基本計画					教育基本計画				
図書館基本計画・展望計画										前図書館計画				
		子ども読書活動推進計画					子ども読書活動推進計画					子ども読書活動推進・		

西東京市図書館計画（令和6（2024）年度～令和10年度）の位置づけ

R06 年度 (2024)	R07 年度 (2025)	R08 年度 (2026)	R09 年度 (2027)	R10 年度 (2028)	R11 年度 (2029)	R12 年度 (2030)	R13 年度 (2031)	R14 年度 (2032)	R15 年度 (2033)	R16 年度 (2034)	R17 年度 (2035)	R18 年度 (2036)	R19 年度 (2037)	R20 年度 (2038)
第3次総合計画 (基本構想・基本計画)										第4次総合計画 (基本構想・基本計画)				
					第3次総合計画 後期基本計画									
教育基本計画					教育基本計画					教育基本計画				
図書館計画					次期図書館計画					次々期図書館計画				
子ども読書・・		子ども読書活動推進計画					子ども読書活動推進計画					子ども読書活動推進・・		

3 計画期間

計画期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間とします。

第2章 前図書館計画における取組について

前図書館計画（西東京市図書館計画（平成 31（2019）年度～2023 年度））において、基本方針 1 から基本方針 6 までに沿った施策の方向性を示し、それぞれの施策に基づいた取組を実施してきました。その取組結果による現状について精査することで、本計画の第 5 章に示す、基本方針に沿った施策の方向性に示す取組に活かします。

1 「基本方針1 資料の収集と保存の充実」の取組

施策の方向性(1) 将来の図書館利用を見据えた資料を収集し保存します

取組① 幅広い分野の資料の体系的な収集

取組内容	◇図書館は乳幼児から高齢者まですべての市民が利用する施設です。利用者や住民の要望と地域の状況とを踏まえ、幅広い資料・情報の収集を行い、魅力ある書架づくりや団体貸出に対応できる児童書の複本の整備などに努めます。 ◇専門的分野の資料も収集します。	
	実施事業	令和元年度から令和 5 年度までの取組み内容
	一般書 魅力ある 書架づくり	利用・要求の多い資料の移管及び移設、並びに法律情報、健康医療、青年期、シニア及びビジネスの各コーナーの整備と資料の充実によって、利用者の利用・要求への対応が可能となった。 また、魅力ある書架づくりとして、中央図書館の雑誌書架及び文庫書架の新調に伴い、雑誌は、新刊とバックナンバーを同じ書架に置くことができ、文庫書架には利用の多い時代小説をまとめたコーナーを設け、利用者にとって見やすく選びやすい書架づくりを行った。 他に芝久保図書館の閉架書庫で保存している蔵書のうち、出版年が経過しても要求が多い「講談社学術文庫」「講談社現代新書」「ブルーバックス」を、柳沢図書館の開架（集密書架）に移設しつつ、芝久保図書館の閉架書庫には、利用状況を精査し、それまで柳沢図書館の集密書架にあった全集の一部を移設し、利用者が直接手に取り、閲覧できる書架づくりを行った。 市の平和事業の一環として、ひばりが丘図書館の原爆小文庫のリニューアルを行った。
	児童書 利用の多い 書籍の整備	利用の多い資料の複冊購入を進め、また、積極的に買い替え資料を整えた。 「えほんだいすき」、「で・あ・い 2」、「道しるべ 2」の発行に合わせて、掲載されている資料の書架づくりを行った。

取組内容	◇弱視の方や高齢の方に読みやすい大活字本を積極的に収集します。	
	実施事業	令和元年度から令和 5 年度までの取組み内容
	大活字本の 充実	利用が多い資料の複本購入を進め、新たに児童向けやノンフィクションの資料を購入することで、書架の内容を充実させた。 中央図書館とひばりが丘図書館、保谷駅前図書館と谷戸図書館、芝久保図書館と柳沢図書館、それぞれの資料を入れ替えることにより、利用者にとって、利用する館の書架にある資料が目新しくなるよう取り組んだ。

取組内容	◇墨字を読むことが困難な方のために、デジタイズ図書や点字図書等を収集・提供します。利用者の求めに応じて自館でそれらを作製し提供します。	
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	デジタイズ図書及び点字図書について、収集（リクエストに応じた自館作成、デジタイズ図書の新規タイトル購入、点訳雑誌の継続購入）・提供したことで、所蔵タイトルの充実・利用数の増加につながった。	

取組② 資料保存のあり方の検討

取組内容	◇将来の図書館利用を見据えた資料保存の整備を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	官公庁刊行物等の保存	官公庁刊行物等の保存年限と保存部数を再検討し、必要な資料が確実に提供できる環境を整備した。
	一般図書の保存	各館の書庫や高所書架等で保存をしていた全集、新書、文庫及びノベルスを精査しつつ、各課の所蔵部数を調整しつつ、所蔵館の割り振り等を調整したことにより、基本書や全集を保存するだけでなく、利用の多い資料は利用者が直接手に取りやすいように全館の書架に整理され、さらに新たな資料を購入するスペースを確保することができた。
	レファレンス資料の保存	各館のレファレンス資料について、資料の配置を調整しつつ、所蔵館の見直しを行った。

取組内容	◇地域性を生かした地域館の分担保存を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	児童図書分担保存	谷戸図書館及び芝久保図書館の書庫をそれぞれ、読み物、絵本、及びノンフィクション資料の保存館として、今後の資料保存が円滑に進められるよう整備した。
	音訳資料等の保存	利用者が音訳資料を使う機器やカセットテープの媒体としての劣化を考慮し、デジタイズ版とカセット版の重複するタイトルは、デジタイズ版のみの保存とし、保存棚の確保につなげた。

施策の方向性(2) 様々な形態の資料についての整備を進めます

取組① オンラインデータベースの検討

取組内容	◇利用者ニーズも踏まえながら、商用オンラインデータベースの種類の検討を行い、また一般公開されている無料オンラインデータベース情報の調査を行い、利用者への情報提供をします。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	データベースの活用	法律に関する有料データベースの導入に向け各社情報を比較検討し、令和4年7月から、中央図書館のデータベース専用席にてインターネットを介した法情報総合データベース「D1-Law」を導入したことにより、現行法令だけでなく過去の法令や判例の検索、横断的な検索が可能になり、利用者が専門知識や用語を用いずに必要な情報にアクセスできるようになった

取組② 電子書籍等の検討

取組内容	◇電子書籍は、保存スペースが不要であり、来館せずに利用できるなどの利点があります。反面、図書館で提供可能な種類が少ない、割高、長期保存に問題があるなどの課題もあることから導入の可能性について調査・研究します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	電子書籍の検討	電子書籍について、公立図書館向け電子書籍サービスの実績がある会社のうち、2社のサービスを調査するとともに、電子書籍を導入している都内自治体への実態調査を行い、西東京市図書館での実施に向けた取り組み材料、情報等を集めた。 令和5年7月から電子書籍の貸出し・予約等ができる「西東京市子ども電子図書館サービス」を開始した。

取組内容	文字の理解が難しい人へのサービスとしてマルチメディアデージー図書※のさらなる活用を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	マルチメディアデージー図書活用	新規タイトル購入や目録を作成し、市内所蔵資料を充実させ、令和3年度の館内巡回展示、令和4・5年度のまちなか先生内での紹介により、資料を広く周知し、活用につなげるきっかけ作りとなった。

※マルチメディアデージー図書：

2「基本方針2 すべての市民に活用されるために」の取組

施策の方向性(1) 誰もが学べる環境の整備を進めます

取組① 図書館利用が困難な市民に向けたサービスの実施

取組内容	◇図書館に来館できない市民に対して、職員と宅配協力員による宅配サービスの充実に努めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	宅配サービスの充実	各広報（図書館ホームページ、館内ポスター・チラシ、社協だより、はなバス広告）で周知を図ったことで、利用者からの問い合わせが増え、宅配回数として、令和元年度から4年度までの平均は、過去5年間（平成26年度から平成30年度まで）に比して8割増加した。

取組内容	◇著作権法の改正によってデージー図書の利用制限が緩和されることに伴い、利用の拡大を図ります。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	デージー図書の利用拡大	関連部署の窓口にラックを設置し、ハンディキャップサービスの利用案内やデージー図書目録（簡易版）を置き、「デージー図書」の広報・周知に努めた。 利用者からのリクエストに伴う、デージー図書の自館作成・相互貸借による対応について、継続した取り組みにより、恒常的なデージー図書の利用につながった。

取組内容	◇高齢者、介護者等の施設や団体との連携・協力によるサービスを実施し、読書支援に取り組みます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	読書支援	利用がなくなり読書支援が滞っていた市内高齢者施設5施設に対して、令和元年度、施設に入居者の読書支援に関する要望を電話にて聞きとり調した結果、1団体が新規登録し、団体配送による読書支援を継続して利用するようになった。従前利用団体と合わせ3団体が利用できる状況となった。

取組② 多文化理解のためのサービスの実施

取組内容	◇日本語以外の言語を母語とする人へ、様々な言語で書かれた資料や、地域のことがわかる情報などを収集します。特に居住割合の高いアジア圏を中心とした外国語資料・情報の提供に努めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	資料・情報の収集提供	実用書や人気のある小説等について、中国語で書かれたものを136冊、韓国語で書かれたものを74冊購入したほか、リクエストのあった英語以外として、英語、フランス語などの図書を受け入れた。今後もニーズを把握しながら資料収集に努める。

取組内容	◇外国語によるおはなし会を継続して開催します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	おはなし会	不定期（年2回程度）開催であった「おはなし会」は、コロナ禍に伴い1か月に2回程度の開催、少人数申込制へと変更したものの、コロナ禍以後の令和5年度からは、年4回（予定）で季節ごとに、「おはなし会」の拡大版として、開催時間を大幅に増やし、内容も読み聞かせに加えて、手遊びや工作などを含めた内容で実施する。 コロナ禍に伴う縮小形態での開催変更による参加希望の減少がなかったことから、今後も拡大版を含めて継続して実施に取り組む必要がある。

取組内容		
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	きっかけづくり	市内12教室ある日本語ボランティア教室のスタッフへ定期的にアンケートとして、日本語以外の言語を母語とする方への指導する上での必要な資料・情報などを調査し、図書館へのニーズを把握しつつ、事業を計画・立案した。 多言語・多文化に興味を湧くような企画講座・展示として、オンライン講座「絵本で楽しむ英語の世界」と英語絵本の展示や「西東京市でアイヌ文化を知る講座」と関連資料の展示等を実施した。

取組③ 利用しやすい環境づくり

取組内容	◇ピクトグラム（絵文字）によるサインや様々な言語による館内表示を作成するなどの見直しを行い、外国人にも利用しやすい環境づくりを進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	サインの設置	図書館ホームページに多文化コーナー、やさしい日本語コーナーを開設し、やさしい日本語で中央図書館を紹介する動画を公開する等、外国人が利用しやすい環境づくりに取り組んだ。 今後、市民の方々が利用する上で有効な方法・工夫を検討するとともに、外国人も含めたサインの在り方について、調査・研究に取り組む必要がある。

取組内容	◇視聴覚資料の貸出点数の増加について見直します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	貸出点数の検討	音楽等の録音資料であるCD（コンパクトディスク）という形態の販売・流通等が縮小していく可能性があり、また各館における録音資料のための書架スペース増が見込めないことから、現時点では貸出点数は変更しない。 今後、図書館で提供する録音資料として、他形態の市場動向や、図書館利用に関するアンケート結果を踏まえた調査・検討に取り組む必要がある。

取組内容	◇現行の開館時間について、利用状況を把握、分析し費用対効果の視点を持って検討をします。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	開館時間の検討	令和元年7月に図書館協議会に『西東京市図書館の開館時間の拡大』について諮問し、令和2年11月に答申があり、令和4年10月から令和5年3月まで中央図書館にて試行として、館内整理日の第3金曜日を除く金曜日、第3金曜日の翌日及び翌々日の土曜日、日曜日の開館時間を午前10時から午前9時に変更し開館し、利用状況等の分析を行った。 令和5年4月1日から中央図書館の開館時間を午前9時とする運営に変更し、市民の利用環境向上に寄与した。 芝久保、谷戸図書館の祝日開館については、人員増や管理運営に伴う経常経費増に対する効果が薄く、見送りとした。保谷駅前、柳沢及びひばりが丘図書館への開館時間拡大については、将来的な検討課題とした。

施策の方向性(2) 市民の生活課題、地域課題に向けた取組を進めます

取組① 課題解決に向けた取組

取組内容	◇ビジネス支援、シニア支援、青年期支援、健康・医療情報、法律情報、英語多読等、様々な課題解決の支援のため現在設置しているテーマ別コーナーについて、定期的に書架構成の見直しを行い、地域性を考慮した最新情報の提供に努めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組内容
	コーナーの見直し	保谷駅前図書館のビジネス支援コーナー、柳沢図書館のシニアコーナーの分類と蔵書構成を見直し、現在の社会情勢等に合わせたコーナーづくりを行うことができた。特に、シニアコーナーについては、高齢者支援課の協力のもと、令和2年度にシニアボランティアへのアンケートを実施し、シニアコーナーづくりの参考にした。また、産業振興課や高齢者支援課と連携し、しおりの配布などを行い、図書館外での周知等にも努めた。

取組内容	◇育児支援、介護支援など新たなテーマに沿って取り組みます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組内容
	新たなテーマの取組み	令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策で図書館利用に制限が生じた際、図書館ホームページにて電子書籍サイトの案内やコロナ関連情報の発信、「本束」(お勧めの本のセット貸)を企画し、館内滞在時間を短縮しながらも本を選ぶ楽しさを提供することで、利用者への資料と情報の提供に努めた。

取組② 学習機会を提供するための講演会・講座の実施

取組内容	◇利用者の自主的な学びを支援するための講演会・講座を継続して実施します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組内容
	講座・講演会の実施	令和元年度は、法テラス「高齢者の消費者トラブル」、「成年後見と家族信託」、キャンサーリボンズ「知って、そなえて、病気のこと」、令和2年度は、コロナ禍により未実施、令和3年度は、「データを正しく読むための「データリテラシー」入門」(オンライン実施)、令和4年度は、「どう読む? 新聞 読み方のススメ ～SNS 時代にあえて読む3つの理由～」(オンライン実施)、「大人が知っておきたい情報リテラシー ネット情報の海に溺れない学び方・学ばせ方」、令和5年度は、「ミニ自分史講座」、「ネット情報におぼれない学び方」を実施した。
	縁(ゆかり)人材の活用した企画	市内在住者を講師としつつ、地域をテーマとして、令和元年度「西東京市ゆかりの文化人 尾崎秀樹の業績」、令和2年度「文学からみた感染症」を実施し、地域の歴史を学ぶ子供向け講座として、令和4年度「二つの流れのはざまに一下田半兵衛と武蔵野の人々」、令和5年度「とびだせ 田無・保谷の村ー江戸時代の生活とつながる人々ー」を開催し、5年間を通して幅広い年齢層を対象としながら、身近な地域に親近感を持ち、興味や関心が湧くよう講座・講演会を実施した。

取組内容	◇利用者主体の参加型イベントの実施機会を増やし、積極的に進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	イベントの検討、実施	コロナ禍等によりイベント実施できず取り組み無し。

取組内容	◇資料やインターネット情報の活用の促進を図るため、定期的にレファレンス講座や講習会を実施し、利用者の調査・研究を支援します。		
	実施事業	年度	取組み内容
	所蔵資料やインターネット情報の促進	令和元年度	中央図書館、保谷駅前図書館、柳沢図書館、ひばりが丘図書館にて、 ① データベース紹介展示「夏休みの宿題に！目指せ★調べ方マスター！～信用できる情報の集め方～」、ひばりが丘図書館にて、 ② 国立国会図書館デジタルコレクション使い方講座「図書館で見る聴く なつかしのオリンピック」、 ③ ショートセミナー（15分程度で申込不要の気軽に参加できるデータベース講座）「夏休みの宿題に！データベース使い方講座」2回、 ④ ショートセミナー「国立国会図書館デジタルコレクション」2回
		令和3年度	① 講演会「データを正しく読むための「データリテラシー」入門」（オンライン実施）※再掲
		令和4年度	中央図書館にて、 ① データベース講習会「経済情報を見る・調べる～経済情報データベース日経テレコンの使い方～」、中央図書館にて、 ② データベース活用イベント「自由研究応援企画『自分だけの誕生日新聞をつくろう』」、中央図書館にて、 ③ データベース活用イベント「新聞データベース活用企画『あなたの思い出新聞』」、芝久保小学校、スキップ保谷にて、 ④ まちなか先生「新聞をつかって調べてみよう」
		令和5年度	田無公民館にて、 ① データベース活用講座講座「ミニ自分史講座一枚の写真からあの頃をふりかえってみよう」、中央図書館にて、 ② データベース活用イベント「自由研究応援企画『自分だけの誕生日新聞をつくろう』」、柳沢小学校、保谷小学校、芝久保小学校にて、 ③ まちなか先生「新聞をつかって調べてみよう」、全館にて、 ④ レファレンス資料展示「植物 牧野富太郎と開く植物図鑑」

施策の方向性(3) 資料と情報の積極的な提供と活用を図ります

取組① 調査・研究活動を支えるレファレンス環境の整備

取組内容	◇オンラインデータベースの提供方法を再検討し、周知に努め有効活用につなげます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	オンラインデータベースの活用	信頼性の高いデータベースの情報をプリントアウトするサービス運用に向けて調査、検討し、併せて西東京市図書館複写サービス取扱い要綱を見直しつつ、一部改正し、運用開始の準備に取り組み、前取組内容「環境整備」のとおり、令和4年7月から、中央図書館のデータベース専用席にてプリントアウトが可能となった。また、国立国会図書館デジタルアーカイブの情報についても、プリントアウト可能となり、オンラインデータベースの活用を広げる取組みにより、利用者がより充実した調査・研究を行える環境となった。

取組内容	◇迅速で信頼性の高い調査回答を行うために、自館で作成したレファレンス記録のデータの共有化を図ります。また、他機関との連携、協力を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	迅速な調査・回答	全館のレファレンス内容を記録・集計し、図書館職員及び専門員に「レファレンスだより」としてレファレンス記録を共有し、レファレンス能力の向上に寄与するよう取り組んだ。 担当職員による、全館専門員向けの研修として、自館で作成したレファレンス記録と国立国会図書館サイトにあるレファレンス協同データベースを用いて、専門員の資質向上に取り組み、実際のレファレンス対応時において迅速な回答につなげた。

取組内容	◇調査・研究活動を支えるレファレンス情報を積極的に発信します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	情報の発信	図書館ホームページ「レファレンス事例の紹介」を更新し、国立国会図書館サイトにあるレファレンス協同データベースを活用した事例公開を行った。 『図書館にまいこんだこどもの大質問-司書さんもびっくり！-』（こどもの大質問編集部／青春出版社／2022年12月出版）にて西東京市図書館の事例が掲載され、同情報を「図書館だより」、西東京市Twitter、LINEにて広報・周知した。

取組② 他機関との連携による情報の共有化と公開

取組内容	◇国立国会図書館レファレンス協同データベースを活用し、レファレンス記録情報の公開と共有化を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	データベースの公開と活用	レファレンス協同データベースへの記録情報を登録し、つぎのとおり公開を進めた。 ※自館参照：西東京市図書館のみアクセス可能な情報 一般公開：全国の公立図書館がアクセス可能な情報
		令和元年度 自館参照：210 一般公開：49
		令和2年度 自館参照：172 一般公開：23
		令和3年度 自館参照：128 一般公開：0
		令和4年度 自館参照：209 一般公開：42
		令和5年度 自館参照：52 一般公開：0（～令和5年10月末現在）

取組内容	◇国立国会図書館障害者等用データ送信サービスに参加し、西東京市図書館が作製したデイジー図書を積極的に提供し、資料の活用を進めます。	
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	国立国会図書館障害者等用データに登録・利用可能とした自館作製デイジーについては、令和元年度から令和4年度まで平均年間約61タイトル、計305タイトルを提供し、全国の公共図書館において、同期間の年間平均として、約9,451回の利用があり、資料の活用につながった。	

施策の方向性(4) 効果的な広報に取組みます

取組① 利用者に届く積極的な広報

取組内容	◇「図書館だより」をはじめとする刊行物や情報紙を発行します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	広報紙、情報紙の発行	「図書館だより」を毎年度4回発行、「ちらっと」(成人向け書籍案内情報紙)を2か月に1回発行、「ドキドキわくわく あたらしい本」(児童向け新刊案内)及び「ドキドキわくわく1ねんせい」(小学2年生向けの図書館と本の紹介)を毎年度1回発行、「CATCH」(中高生向けの市民参加型冊子)を毎年度3回発行、「すいせん図書」として小学生向けと中学生向けの推薦図書案内をそれぞれ毎年度1回発行し、併せて図書館ホームページで閲覧できるよう掲載した。

取組内容	◇図書館ホームページの充実を図り、図書館の活動や事業に関する情報を利用者に広く提供します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	ホームページの更新	令和元年度の図書館管理システム更新に合わせて、図書館ホームページの構成を見直し、利用者が見やすく、分かりやすい情報発信に取り組んだ。 コロナ禍に関する書籍紹介、感染症関連情報のリンク集作成による情報発信、また、各種サービスコンテンツの充実としてシニアコーナーリニューアル、原爆小文庫の掲載ページを設置するほか、イベント情報と報告の情報発信として、まちなか先生報告、調べものコンクール報告、展示情報と資料リストの提供などに加えて、図書館の事業やイベントに関連する行政他部署の情報発信(原爆小文庫ページ内における市の平和事業の紹介等)など図書館ホームページによる周知に取り組んだ。

取組内容	◇広報活動の拡充を図るため、学校、行政、商工団体、市民団体等と積極的な連携・協力を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	広報の拡充	多文化イベントについて、多文化共生センター・日本語教室と連携を進め、恒常的に情報発信を行えるようになった。 保谷駅前図書館ビジネスコーナーの広報として、しおりを作成し、産業振興課との連携により、商工会議所、OK 西東京、リップル東京、西東京市ハンサム・ママ主催の講座で配布した。 西東京市ハンサム・ママのホームページに図書館ビジネス情報のページバナーリンクを作成した。 高齢者支援課との連携として、柳沢図書館のシニアコーナーにて、高齢者支援課事業に関連する資料展示、広報に取り組んだ。 10代向けイベント(ヤングアダルト向けの講座等)について、公立の小中学校だけでなく、私立中学校・高等学校、市内大学に協力を仰ぎ、情報発信に取り組んだ。 同様にその他、広報の連携・協力相手先として、市行政部局、武蔵野大学(広報課、日本文化学科、国際交流課)、吉祥寺外国語学校、市内日本語教室、コール田無、市民共同推進センターゆめこらぼ、西東京市南町スポーツ・文化交流センター(きらっと)に協力を仰ぎ、関連する事業・イベントの周知について取り組んだ。

取組② 多様な媒体を活用した広報活動

取組内容	◇活用可能な情報発信媒体を、その特性を活かし、ターゲットを明確に戦略的な情報発信を行います。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	媒体の検討	イベントの周知やサービス周知の際に、対象者に応じて各種媒体（図書館ホームページ、市のSNS、行政広報誌、各種団体、地元メディア（ひばりタイムス、FM西東京、タウン通信等）、マスメディア等）を使い分けて情報発信を行った。 例として、宅配サービスの周知を西東京市社会福祉協議会の社協だよりに掲載、はなバス広告に掲示のほか、地域・行政資料室のイベント周知について、タウン通信、FM西東京を活用するなど情報発信元の特性に合わせた周知に努めた。

取組③ 広報機能体制の強化

取組内容	◇市民に役立つ図書館を目指し、広報・広聴活動のあり方について、先進事例に学ぶなど、多角的な検証と見直しを実施します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	活動のあり方	図書館ホームページのリニューアル後（令和2年度）に使い勝手など利用者にアンケートを実施し、ホームページの構成見直し、案内の表示方法や、表現などの工夫に取り入れた。 また、図書館アンケートの結果を受け、広報活動の効果と方針について見直しをおこなった。

3 「基本方針3 西東京市の文化・歴史を次世代に継承する」の取組

施策の方向性(1) 西東京市に関する資料と情報を収集し保存します

取組① 西東京市を中心とした地域を知るための資料の充実と活用促進

取組内容	◇西東京市・多摩地域・東京都・隣接自治体を含めた地域を知るための資料を継続して収集します。	
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	地域に関する資料や行政資料、縁（ゆかり）の人物に関する資料の積極的な収集を継続するとともに、当該資料の図書館管理システムへの書誌データ登録時に独自情報を追記するなどに加えて、令和3年度の中央図書館・田無公民館耐震補強等改修工事における地域・行政資料室のレイアウト変更（以下、「地域・行政資料室リニューアル」）に伴う書架構成の見直しを行い、提供につなげるための工夫に取り組んだ。	

取組内容	◇西東京市域を含む各種地図あるいはその情報を利用しやすいように整備します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	地図資料の整備	西東京市域を含む各種地図の装備、収納方法を検討しつつ、令和4年度からは地域・行政資料室リニューアルにより、利用者や職員に分かりやすい地図書架を構築した。 地図資料は、用途や大きさなど形態が様々で、地図ごとに表示方法や見方が異なり複雑であることから、利用者の要求に的確に応えるため、職員の知識・能力を一層向上する必要がある。また、利用者からの要求のうち、所蔵している地図以外については、国土地理院のインターネットサイトで閲覧できる地図データの活用などを案内できるよう、職員の研究・調査による能力向上が重要である。

取組内容	◇市民や活動団体等の発行物や情報を継続して収集します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	市民等の発行物	市民や活動団体等の発行物は、適宜、発行状況を確認しつつ、情報の収集・整理を継続した。発行元である市民や団体の方に収集の意義を理解していただくとともに、収集を継続していく責務を果たす必要がある。

取組内容	◇自館での電子データの作成を行う環境の整備を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	作業環境の整備	地域・行政資料室リニューアルによる作業スペース拡大を予定し、スキャナーの設置による新聞記事以外の新聞折り込み広告など、大判資料の電子化を業務に組み込むことを検討していたが、作業スペースを取ることができなかったことと、対象資料が減少傾向にあること等を踏まえ、見直すこととした。

取組② 地域・行政資料室の機能の充実

取組内容	◇入手した西東京市に関する全ての資料と近隣地域を含む調査に役立つ資料を中心に所蔵し、永続的に活用できる環境の整備を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	活用のための整備	貴重資料の原本や複本等を電子化しつつ、当該資料を継続して外部書庫に保管していくため、保管冊数を増やすなど、環境整備に努めた。 電子化した資料は、図書館ホームページ上での公開、図書館内での閲覧、複製資料での提供などを実施している。

取組内容	◇全館の地域・行政資料の収集・整理や、地域に関するレファレンスを含むサービス全般のバックアップを継続して担います。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	体制の強化	中央図書館の地域・行政資料室で常に安定したサービスが提供できるよう、専任職員を継続して配置した。 各地域館においては、地域・行政資料を置く書架が少ないながら、地域性に合わせた資料の配置となるよう随時入替、見直しを行った。 図書館管理システムにおける書誌データに地域・行政資料としての内容細目や検索件名等を登録しつつ、レファレンス記録を同システムへの反映を継続することで、地域・行政資料の担当職員以外の職員や地域館の職員が同システムによる内容を元にレファレンスに対応できるよう努めた。

施策の方向性(2) 西東京市に関する資料と情報を活用し発信します

取組① 西東京市に縁（ゆかり）のある人物情報の収集と活用

取組内容	◇西東京市に縁のある人物の著作やその人物に関する情報を収集します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	関連情報	縁（ゆかり）の人物に関する資料の積極的な収集を継続する中で、図書館ホームページ「西東京市 縁（ゆかり）の方の紹介」の情報を随時更新し、講演会の際には関連資料の紹介など積極的な発信にも努め、参加者の興味・関心を広げた。

取組内容	◇収集した情報をデータベース化し利用に役立てます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	データベース化	縁（ゆかり）の人物に関する資料の活用を促すため、中央図書館の開架では専用コーナーに置く図書を入れ替えた。また、図書館ホームページの縁（ゆかり）コーナーに対象者とその詳細を随時追記する掲載により、一定の情報発信ができています。 縁（ゆかり）の対象になる可能性がある人物の情報を収集する作業において、その情報を随時管理していく必要があるため、情報のデータベース化、並びに簡易データベースによるシステム管理が必要であるものの、現時点においても紙カードによる管理にて対応している。紙カードによる管理を継続しつつ、将来的にデータベース化による管理が行えるようシステム構築を目指し、さらなる人物紹介につなげる必要がある。

取組② 電子化資料の活用促進

取組内容	◇市史編纂資料、写真等資料ごとに、最適な形式を検討し積極的に公開を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	公開の促進	外部プラットフォームを活用して「西東京市図書館／西東京デジタルアーカイブ」を開設し、旧田無と旧保谷の市史、古地図や古文書及び創作紙芝居の電子化資料を公開し、来館によらない閲覧が可能となり、資料の活用拡大につながった。また、電子化した資料は、図書館ホームページ上での公開のほか、図書館内での閲覧、複製資料での提供なども実施している。 今後は、「西東京市図書館／西東京デジタルアーカイブ」の更新あるいは、図書館ホームページの活用について効果的な公開を検討していく必要がある。

取組内容	◇公開した電子化資料について、積極的な活用を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	利用の拡大	図書館ホームページや図書館だより、チラシ配布等で情報を発信するとともに、講演会の際に周知するなど、情報発信に努めた。 「西東京市図書館／西東京デジタルアーカイブ」で公開しているデータの公開以外の活用について、利用拡大につながる周知方法や関連する情報の付加などが必要であるものの、データ化している資料及び今後データ化される資料への深い理解、より効果的な活用を検討・構築する専任職員の能力向上が必須であり、将来的な課題である。

4 「基本方針4 未来を担う子どもの読書活動の支援」の取組

施策の方向性(1) いつでもどこでも子どもが本に出会える場づくりを進めます

取組① 魅力ある書架づくりと提供方法の工夫

取組内容	◇未来ある子どもたちに読書の喜び、物事を調べることの楽しさを知ってもらえるように、また、知識・感性・情緒の育成を促し、様々な興味に応えられる資料収集し、新鮮で魅力ある書架づくりを行います。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	魅力ある書架づくり	令和3年度に、おすすめ絵本リスト「えほんだいすき」に掲載した絵本のコーナーを全館に設置した。

取組内容	◇子どもの年齢に合わせて興味を引くテーマ展示や特別展示を継続的に実施し、読書のきっかけを作ります。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	きっかけづくり	令和2年度のコロナ禍に「絵本のおたのしみ袋」を企画し、全館で実施した以降、継続して実施している。また、令和4年度に発行した「で・あ・い 2ー小学生の本のリストー」、「道しるべ2ー中学生の本のリストー」に掲載した本を全館で展示し、読書のきっかけとなるよう取り組んだ。 令和5年度は、小学生を対象にした「おたのしみ袋」(仮)を企画し全館で実施した。(予定)

取組② 市民、関係団体、関係機関との連携・支援

取組内容	◇おはなし会の充実を図るため、おはなし会ボランティアの育成をします。読み聞かせ技術の向上を目指し、研修会、講座を実施するとともに、活動に必要な情報を提供します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	おはなし会ボランティアの育成	新たにおはなし会ボランティアの5期生を養成し、また、フォローアップ講座の実施により、おはなし会ボランティアの資質及び技術向上を行った。
		令和元年度 おはなし会ボランティア養成講座（5期生・初級）
		令和3年度 おはなし会ボランティアフォローアップ講座（2回連続講座）
		令和4年度 おはなし会ボランティア中級講座（5期生）
	令和5年度	おはなし会ボランティアフォローアップ講座（1～5期生）

取組内容	◇団体貸出をはじめ、子どもの読書活動に関わる市民、関係団体、関係機関の読書環境の整備を支援する取組みを進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	おすすめ本セットの利用促進	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い来館による選書が難しい状況のなか、30冊1セットの図書館職員が選書した「すいせん図書パック」の活用が伸びた。 令和5年度に「いいね！西東京市図書館おすすめ（セレクト）本」について、貸出増加に対応するため、新たなセット内容の見直しを実施した。

施策の方向性(2) 子どもの成長に沿った取組みを進めます

取組① 乳幼児と保護者の読書活動の推進

取組内容	◇絵本の紹介や読み聞かせの実演など、絵本に関する講座を実施します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	講座の実施	令和元年度から3年度まで「赤ちゃんと一緒に楽しむ絵本講座」など、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応のため、開催を取りやめた。 令和4、5年度「おひざのうえでよみきかせ♪～乳幼児保護者向け絵本講座～」(全2回)を実施した。 コロナ禍による延期を経て、家庭でも読み聞かせを楽しんでもらうため、乳幼児を持つ保護者等を対象に、読み聞かせや手あそびの実演を交えながら、絵本の読み聞かせ方法や年齢別の絵本の選び方について講座を実施した。

取組内容	◇絵本と子育て事業（ブックスタート）を継続して実施し、子どもと保護者の読書活動を支援します。事業内容は、定期的に現状を検証して見直しを図ります。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	おはなし会ボランティアの育成	令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応中は、絵本プレゼントを郵送・図書館窓口配布に切り替えて対応した。令和5年度は、郵送・窓口配布の継続と共に、保育園及び児童館での直接の絵本プレゼント・読み聞かせの実演を実施した。 3～4ヶ月児健康診査会場での絵本プレゼント・読み聞かせについては、再度の実施に向けて、健診の所管課と調整する必要があるものの、健診会場の衛生管理上、開催が可能であるのか、健診を担う医師等の判断によるため、今後の開催は未定である。
		令和元年度 3～4ヶ月児：参加人数 1,378 人 (健診会場で 26 回実施、うち 1 回健康課より配布) 3 歳児：参加人数 136 人 (健診会場で 26 回実施、うち 2 回案内のみ)
		令和2年度 3～4ヶ月児：配布人数 1,179 人 (令和2年7月1日から窓口配布、12月2日から郵送開始)
		令和3年度 3～4ヶ月児：配布人数 1,287 人
		令和4年度 3～4ヶ月児：配布人数 1,132 人 3 歳児：参加人数 6 人 (柳沢・ひばりが丘図書館で 5 回実施)
		令和5年度 3～4ヶ月児：配布人数 352 人 (令和5年8月末現在)

取組内容	◇一日図書館員をはじめ、バックヤードを体験できるイベントなど参加型行事を実施し、図書館利用のきっかけ作りを進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	参加型行事の実施	下記のとおり、参加した。
		令和元年度 一日図書館員：小学生 57 人 職場体験：小学生 116 人、中学生 84 人 施設見学：小学校 12 校 1,176 人
		令和2年度 一日図書館員、職場体験中止 令和2年度施設見学：小学校 3 校 33 人
		令和3年度 一日図書館員、職場体験中止 図書館バックヤードツアー：谷戸図書館 25 人、柳沢図書館 8 人 令和3年度施設見学：小学校 1 校 18 人
		令和4年度 一日図書館員（全6館にて実施）：小学生 57 人、中学生 9 人 図書館バックヤードツアー：中央図書館 24 人、柳沢図書館 8 人 職場体験：高校生 2 人 施設見学：小学校 15 校 893 人、中学校 3 校 31 人 合計 924 人
		令和5年度 一日図書館員（全6館にて実施）：小学生 63 人、中学生 5 人 図書館バックヤードツアー：中央図書館、谷戸図書館実施予定

取組内容	◇読書活動振興を目的に、要望に応じて放課後子供教室へ司書を派遣します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	司書の派遣	令和元年度から令和3年度まで新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応等により派遣延期、令和4年度に谷戸第二小学校にて試行実施、令和5年度は、武蔵野大学学生が参加し、小学校5校（田無、芝久保、谷戸第二、本町及び住吉小学校）にて実施した。

取組内容	◇小学生向け冊子「であい」などの見直しを行います。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	発行物の見直し	令和4年度「で・あ・い 2ー小学生の本のリスト」冊子を発行し、令和5年度に同冊子にて紹介している資料の展示を実施した。

取組③ Y A（ヤングアダルト）世代の読書活動の推進

取組内容	◇Y A（ヤングアダルト）世代を対象とした読書会等、読書の楽しみを他者と共有できるイベントを開催します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	読書会等の実施	令和元、2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応等により中止とし、令和3年度に「プレゼントブック」、令和4年度「短歌」、令和5年度「文章教室」をテーマにワークショップを開催し、アンケート実施、参加者から高い評価を得た。

取組内容	◇中学生向け冊子「道しるべ」の改訂を行います。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	発行物の見直し	令和4年度「道しるべ2ー中学生の本のリスト」冊子を発行し、令和5年度に同冊子にて紹介している資料の展示を実施した。

取組内容	◇Y A世代に向けて、調べ方案内（パスファインダー※）を作成し、いつでも活用できるようにします。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	パスファインダー	令和3年度、他自治体の公立図書館にて実施されている内容を調査・収集し、令和4年度に、市内全中学校の学校司書にアンケート調査を実施、中学生のニーズを把握した。同結果を踏まえ、パスファインダーのテーマを選定し、令和5年度に「修学旅行（京都・奈良）」をテーマにパスファインダーを作成した。 多くのYA世代の目に触れ、利用されるよう図書館ホームページに掲載するとともに、令和5年7月から開始した「西東京市子ども電子図書館」に資料として登録した。今後もパスファインダーのテーマを拡充し、掲載・提供する予定である。

施策の方向性(3) 学校との連携・協力・支援を進めます

取組① 学校・学校図書館への支援

取組内容	◇学校司書と連携し、調べもの学習の協力・支援をします。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	学校司書との連携	令和元年度から5年度まで、各小中学校の授業で必要となる資料や、調べ学習等で使う資料について、学校司書を通じて、学校図書館では対応できない部分について、資料の収集・提供等の協力・支援を進めた。

取組内容	◇すいせん図書パック「いいね！！西東京市図書館おすすめ（セレクト）本」の活用を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	活用の実施	「すいせん図書パック」を周知したことにより、コロナ禍においては活用され、学校支援につながった。また、コロナ禍以降も学校からの「すいせん図書パック」の利用が継続し、令和5年度には、学校での活用に資するよう、セット内容の見直しを実施した。

取組内容	◇文字が認識しにくい子どもを対象としたマルチメディアデジターの提供を積極的に進めます。また、学校との協力、連携により普及します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	提供と連携による普及	マルチメディアデジターの児童向け新規タイトルを継続して毎年度購入し、冊子としての目録に追加するとともに、自館作成のマルチメディアデジター作成ソフト導入により、資料数を増やした。 令和3年度から、作成及び購入したマルチメディアデジターの巡回展示を全館で実施するとともに、令和4年度以降、「まちなか先生」やおはなし会等にて、資料の周知及び説明の機会を設け、児童や保護者、学校の先生に理解を深めてもらい、普及につなげるきっかけ作りの場となったものの、利用の拡大には至っていない。

取組② 保護者、PTAとの連携と支援

取組内容	◇子どもの本に関わる活動をする保護者・PTAに対して、絵本の読み聞かせ講座を継続するなど、支援の充実に努めます。	
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	令和元年度から3年度まで「西東京市小学校保護者のための読み聞かせ交流会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応のため、開催を中止し、令和4年度に「子どもたちにおはなしを ～おはなしボランティア入門講座～」(共催)(全3回)を開催した。	

取組内容	◇館外での講座・講演依頼に対して、積極的に司書の派遣を行います。	
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	令和元年度から令和5年度まで、子どもの本の勉強会主催の定例会、令和元年度に、ひばりが丘公民館「Como-café※」講座、保谷第一小読み聞かせサークル主催の定例会、西東京市中学校教育研究会特別活動部会主催の「西東京市 Book festival」、令和3年度に、南町地区会館ぞうさん文庫主催の定例会、西東京市芝久保公民館・図書館共催講座「平和を考える講座『子どもと大人の平和を考える読み聞かせ』」に図書館司書を派遣した。	

※Como-café：

5「基本方針5 地域、行政と連携した図書館サービスの向上」の取組

施策の方向性(1) 市民、関係団体とのネットワークづくりを進めます

取組① 市民、団体とのネットワークづくり

取組内容	◇図書館と市民、様々な団体などと連携したネットワークづくりを進め、協働企画などによるイベントを実施します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	ネットワークづくり	令和3年度に、子ども読書活動推進計画策定記念「目で見える西東京市子ども読書活動推進計画」パネル展を休館中の中央図書館を除く全館で実施し、子どもの読書に関する活動を行っている団体のパネルを全館で巡回展示を行った。

取組内容	◇武蔵野大学と連携・協力し、相互利用を進めます。また、武蔵野大学からの依頼による図書館職員の講師派遣を継続します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	武蔵野大学との連携	図書館利用者のへの武蔵野大学図書館利用証の貸出しは、令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に伴い武蔵野大学が受け入れを中止していたが、令和5年度から再開している。 図書館職員の講師派遣については、コロナ禍後の令和3年度から再開し、同年度は、武蔵野大学文学部日本語・日本文化学科主催「読書への誘い」、令和4年度は、武蔵野大学文学部日本文学文化学科1年次「入門ゼミB」特別授業（図書館司書）に講師派遣した。（※令和5年度も継続して実施する予定）

取組② 市民からの発信の場づくり

取組内容	◇市民や地域で活動する団体と連携して、資料を介した図書館との情報交換や交流を深める参加型の活動を進めます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	参加型の活動	令和元年度、善意による市民からの古文書解読の申し出があり、解読した内容と当該古文書を地域・行政資料として、外部プラットフォームを活用した「西東京市図書館／西東京デジタルアーカイブ」で掲載した。また、市内の子ども読書活動に携わる方々からの推薦による、詩人アーサー・ビナード氏を講師に招き、共催にて講座「日本語と英語と虫語？」を実施した。

施策の方向性(2) 他自治体の図書館や市の他部局との連携を図ります

取組① 近隣自治体とのネットワーク

取組内容	◇多摩六都広域行政圏や四市行政圏、近隣自治体との相互利用などの広域連携によりサービスの充実を図ります。
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	多摩六都広域行政圏及び四市行政圏の連絡会に毎年度参加し、情報交換等による連携を図り、また、東京都立図書館及び都内公立図書館との相互利用を継続し、西東京市図書館未所蔵の予約対応に努めた。

取組内容	◇連携している各自治体の図書館の発行物や講演会の開催情報を共有化し、利用者へのサービス向上を図ります。
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	多摩六都図書館（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市）の広報活動担当者連絡会に参加し、共同での図書館広報を進めた。 紙媒体の「多摩六都利用案内」を発行した他、既存の多摩六都図書館ホームページを「たまろくナビ」にリニューアルしたことに伴い、紙媒体で発行していた図書館ニュースを廃止して、「たまろくナビ」に WEB 情報として掲載し、利用者へのサービス向上を図った。

取組② 地域や行政との連携

取組内容	◇行政各課職員の出前講座、他機関との連携・協力による人材を活用した講座・講演会を開催し、所蔵資料の提供、二次資料の作成などにより、地域と市の他部局との連携を進めていきます。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	他部局との連携	次のとおり、他機関等と連携した。
		令和元年度 ・オリンピック・パラリンピック展示 柳沢、ひばりが丘図書館にて東京都立図書館との連携
		令和2年度 ・男女平等参画（パリテ）展示 柳沢図書館にて協働コミュニティ課との連携
		令和3年度 ・男女平等参画（パリテ）展示 谷戸図書館にて協働コミュニティ課との連携 ・自殺予防展示 保谷駅前、柳沢及びひばりが丘図書館にて健康課との連携 ・認知症展示 保谷駅前、芝久保及び谷戸図書館にて高齢者支援課との連携
		令和4年度 ・男女平等参画（パリテ）展示 芝久保図書館にて協働コミュニティ課との連携 ・自殺予防展示 全館にて健康課との連携 ・女性の健康に関する展示 中央図書館にて健康課との連携 ・認知症展示 中央、保谷駅前及び谷戸図書館にて高齢者支援課との連携 ・フレイルに関する展示 全館にて高齢者支援課との連携

		令和5年度	・自殺予防展示 全館にて健康課との連携 ・認知症展示 全館にて高齢者支援課との連携 ・フレイルに関する展示 全館にて高齢者支援課との連携
--	--	-------	--

施策の方向性(3) ボランティアの拡大を推進します

取組① 協力員の活動の推進

取組内容	◇絵本と子育て事業については、読み聞かせ講師の協力による事業の充実を図ります。		
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	絵本と子育て事業の充実	令和2年度以降、おはなし会を3～4ヶ月児健康診査会場での開催ができていないため、読み聞かせ講師の協力は実現していないものの、令和5年度、読み聞かせ講師の協力による事業を実施するとともに、保育園、児童館での絵本プレゼントの配布を実施した。	

取組内容	◇音訳事業については、専門的な技術を必要とする音訳者の養成講座及び技術向上のための研修を行い、サービスの充実を図ります。		
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	音訳者の育成技術向上の取組み	音訳者については、毎年度、休会・退会者が出るものの、新規音訳者を隔年で募集・育成することで、毎年度約60名の音訳者の確保につなげることができた。また、活動中の音訳者に対しても継続して専門研修を実施し音訳技術の質の向上につなげた。	

取組② ボランティアの育成に関する取組み

取組内容	◇おはなし会ボランティアを育成し、子ども向けおはなし会の充実を図ります。		
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	おはなし会ボランティアの育成	【基本方針4】未来を担う子どもの読書活動の支援－(1) いつでもどこでも子どもが本に出会える場づくりを進めます－②市民、関係団体、関係機関との連携・支援の実施事業「おはなし会ボランティアの育成」にて掲載	

取組内容	◇宅配ボランティアを育成し、宅配サービスの拡大を図ります。		
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	宅配ボランティア育成	ボランティア(宅配協力員)の募集について、市報及び図書館ホームページにて随時広報したことにより、増加する宅配希望者に対応する人数を確保できた。 宅配回数は、令和元年度から5年度の間に2倍以上に増加した。	

取組内容	◇地域・行政資料で公開する電子化資料のテキスト化・解説・解説等における協力者の活用を試行します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	地域行政資料の協力者の活用	協力者による地域行政資料等の電子化について、令和元年度、旧田無市の史編さん資料「つげの手紙」を民間で研究された方に解説及び校正を依頼し、出来上がった資料をデジタルアーカイブとして公開した。 また、令和2年度、市内の朗読協力者により大型紙芝居を電子化し、デジタルアーカイブとして公開した。一方で専門的知識・技能を必要とする依頼内容を低報酬で協力者に依頼することになるため、継続して協力者に依頼することが困難となり、本格的な実施に至らなかった。

6「基本方針6 効率的・効果的な運営体制の構築」の取組

施策の方向性(1) 職員の専門性の向上を目指します

取組① 職員のスキルアップに向けた取組み

取組内容	◇窓口対応（接遇対応）や手話研修・外国語習得など、行政職員として必要な知識を習得するための研修への積極的に参加します。	
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	市の職員課又は東京区市町村自治会館主催の研修については、対象となる職員を必ず派遣し、行政職員として必要な知識の習得に努めた。	

取組② 専門性の高い職員集団の育成

取組内容	◇資質向上のための専門的な研修へ参加し、職員全体で情報を共有することで職員組織の強化を図ります。	
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	国立国会図書館及び東京都立図書館等が主催する図書館職員として必要となる基礎及び専門研修へ参加し、職員個々の資質・知識等の向上に努めた。また、研修内容を職員全体が把握できるように情報共有し、職員各自が知識等を得られる機会を設けた。	

施策の方向性(2) 図書館ネットワークの強化を図ります

取組① 中央図書館と地域館とのネットワークの強化

取組内容	◇中央図書館と地域館の機能を明確にし、情報（資料）・物流・職員で形成されたネットワークの一体的な運用を促進します。	
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	現在の6館体制において、資料を各館に搬送する物流等の拠点として中央図書館が中心館の役割を担い、また、地域館の職員が図書館資料の選書・発注時に中央図書館に集まり図書館全体で効率的に業務が行えるよう努めるなど、一体的な運用が安定且つ効果的に行えるよう取り組んだ。	

取組② 中央図書館の機能拡充

取組内容	◇中央図書館に求められる機能の課題について検討します。	
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	市の他部局が所管する公共施設等総合管理計画策定に向けて、令和2年度から将来的な新中央図書館構想における機能について、図書館内で検討を始めた。また、検討結果を踏まえて、令和3年度から図書館協議会において、図書館としての在り方について協議を依頼し、令和4年度「私たちの望む西東京市の図書館」が取りまとめられた。	

取組内容	◇中央図書館施設の耐震化対応と老朽化した施設の改修を実施します。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	施設の対応について	令和3年度、中央図書館・田無公民館耐震補強等改修事業により、構造躯体の耐震補強等による利用者の安全確保、空調設備更新、照明設備のLED化等省エネルギー型機器への更新、外壁改修等劣化個所の修繕・更新を実施した。

取組内容	◇利用者の利便性の向上につながる施設について検討します。	
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	令和3年度、中央図書館・田無公民館耐震補強等改修事業により、利用者の利便性の向上のため、田無公民館1階学習コーナーの設置、トイレの洋式化、文庫書架、雑誌書架の更新、地域・行政資料室の書架入替等によりレイアウト変更を実施した。	

取組③ 図書館システムの向上

取組内容	◇市民の円滑な図書館利用を促進するため、図書館システムの使いやすさの向上と安定的な運営に努めます。さらに、利用者ニーズの動向、情報メディアの多様化等を見据え、それぞれの課題に対応するシステム更新をします。	
	実施事業	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	システムの向上	利用者からの意見・要望を踏まえ、課題等を精査し、システム変更の必要性を検討しながら、2ヶ月に1度の頻度で図書館システムプログラムの更新を実施した。

施策の方向性(3) 利便性と効率性の向上に向け取組みます

取組① 年度ごとの事業計画の作成と実施

取組内容	◇本計画に掲げられた施策の方向性に沿って、具体的な取組み事業を計画し、実施します。	
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容	
	年度ごとに各サービスに係る担当等が取組み内容を調整しつつ、事業計画を立案し、計画に沿って事業を進めた。	

取組② 事業の進捗管理と評価

取組内容	◇P D C Aサイクルの考えに基づき、事業の進捗管理を行います。
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	毎年度計画・実施している事業等は、前年度事業計画の図書館協議会からの評価・意見を参考にしながら、図書館内における検討結果や課題に対応するための取組等が活かせるよう、実施できるよう計画し取り組んだ。 図書館の運営に関する会議にて各事業等の逐次進行管理を行い、館長による全職員との個別に面談により、各自が携わる事業の進捗状況や課題等を把握し、年度終了後、各事業に対して、図書館で一次評価、図書館協議会での二次評価を得て、翌年度の事業等に活かせるよう努めた。

取組内容	◇事業目標および数値目標等に基づいた評価を行います。評価方法については、図書館で一次評価し、図書館協議会で二次評価をします。
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	前「取組内容 P D C Aサイクルの考えに基づき、事業の進捗管理を行います。」のとおり。

取組内容	◇必要に応じ、利用者アンケート調査を実施します。
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	令和2年度に図書館管理システム更新に伴いリニューアルした図書館ホームページに関するアンケートを実施した。 令和4年度に図書館利用に関するアンケートを実施し、本計画の策定に係る図書館計画策定懇談会に結果及び分析等を示し、計画策定における基礎資料として活用した。

取組内容	◇評価およびアンケート調査の結果は、図書館ホームページ等により、市民に公表します。
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	年度ごとの事業評価結果、令和2年度の図書館ホームページに関するアンケートを公表、令和5年度に図書館利用に関するアンケートを公表した。

取組③ 危機管理

取組内容	◇利用者が安心、安全に利用できるための対策を実施します。個人情報の保護のための研修の実施、情報セキュリティのための定期的な点検と研修の実施、災害対策のための防災訓練とマニュアルの整備等を行います。
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	図書館管理システムに係る情報セキュリティに関する研修を図書館内で職員全員を対象として実施するとともに、庁内システムに係る情報セキュリティに関する庁内研修を毎年度、担当職員及び新任職員を対象として実施した。

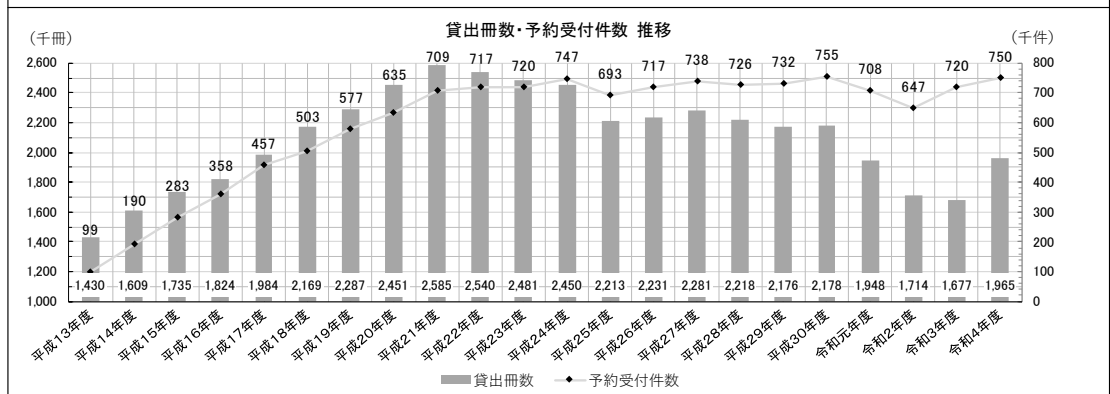
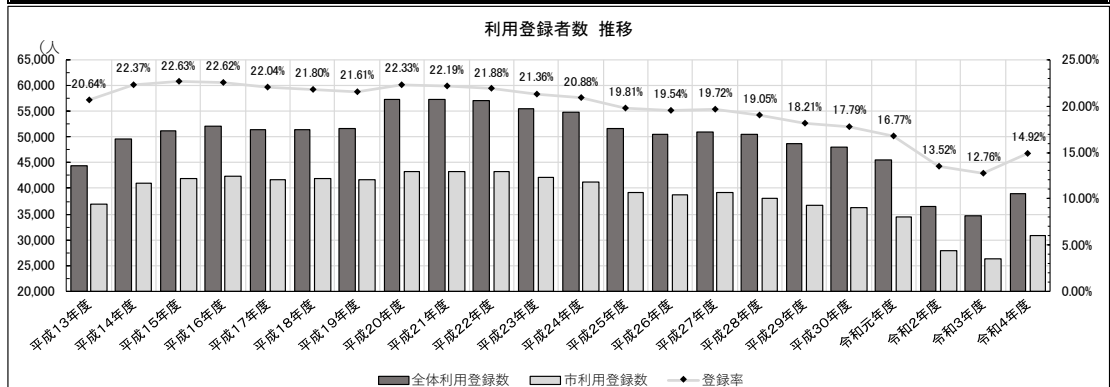
取組内容	◇災害時や災害後の状況の記録を残し、マニュアル作成に役立てます。
	令和元年度から令和5年度までの取組み内容
	火災を想定した防災訓練を各館で毎年度1回実施し、全職員の危機管理に対する意識を高めた。 また、3年に1回、全職員が対象となる救急救命講習へ参加し、急病人等への対応に当たれるよう技能・知識の維持に努めた。

第3章 利用登録・アンケートにおける現状について

1 利用登録等における現状と課題

旧田無市、旧保谷市を経て、西東京市として誕生した以降、20%以上あった市民の登録率は、平成25年度に20%を切り、年々減少傾向にあったなか、令和元年度終わりからの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う対応があり、また、令和2年度及び令和3年度は感染症対策を取りながらサービスに努めたものの、中央図書館の耐震補強等改修工事に伴う休館のため、大幅に利用者が減少し、併せて登録率も大幅に低下しました。令和4年度は、コロナ禍の影響も少なくなるとともに、中央図書館が再開したことにより、登録率も若干回復傾向にあります。

年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
人口	179,126	183,308	185,513	187,674	189,688	191,921	193,016	194,066
全体利用登録数	44,332	49,536	51,201	52,044	51,488	51,511	51,680	57,280
市内利用登録数	36,967	41,010	41,988	42,460	41,805	41,848	41,714	43,339
登録率	20.64%	22.37%	22.63%	22.62%	22.04%	21.80%	21.61%	22.33%
年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人口	194,908	197,652	197,729	197,447	197,676	198,357	199,297	200,098
全体利用登録数	57,333	57,101	55,507	54,752	51,608	50,593	51,073	50,579
市内利用登録数	43,241	43,247	42,229	41,236	39,154	38,762	39,306	38,109
登録率	22.19%	21.88%	21.36%	20.88%	19.81%	19.54%	19.72%	19.05%
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
人口	201,292	203,222	205,653	206,067	205,726	205,943		
全体利用登録数	48,713	48,122	45,479	36,544	34,661	38,905		
市内利用登録数	36,657	36,155	34,496	27,861	26,243	30,735		
登録率	18.21%	17.79%	16.77%	13.52%	12.76%	14.92%		



次に、令和４年度末時点の利用登録者における世代別の状況については、次の表のとおりです。市外の利用者を除く、市内利用登録者の年代別登録者数です。

世 代	登録者数	人口	登録率	人口割合	登録者割合
乳幼児(0～6 歳)	1,207	10,770	11.21%	5.23%	3.93%
小学生(7～12 歳)	2,870	10,571	27.15%	5.13%	9.34%
中学生(13～15 歳)	900	5,278	17.05%	2.56%	2.93%
ハイティーン(16～19 歳)	988	7,285	13.56%	3.54%	3.21%
一般(20 代)	2,284	22,590	10.11%	10.97%	7.43%
一般(30 代)	3,525	24,127	14.61%	11.72%	11.47%
一般(40 代)	5,295	30,314	17.47%	14.72%	17.23%
一般(50 代)	4,849	32,525	14.91%	15.79%	15.78%
一般(60 代)	3,640	23,023	15.81%	11.18%	11.84%
一般(70 代)	3,618	21,353	16.94%	10.37%	11.77%
一般(80 代以上)	1,551	18,107	8.57%	8.79%	5.05%
登録申込時生年月日未記載	8	—	—		
合 計	30,735	205,943	14.92%		

※人口は、令和５年３月３１日現在

上記表の年代別登録率において、乳幼児を除く低い登録率は、高校生世代及び青年層(20 代)ではあるものの、人口割合と登録者割合との比較(相関)から、人口割合に比して登録者割合が乖離している年代が20 代及び80 代以上であることが分かります。また、20 代の子育て世代の登録率が低いことが、乳幼児の登録率が低くなっている要因と考えられます。

次に、令和４年度の利用登録者における西東京市内町別の登録状況については、次の表のとおりです。

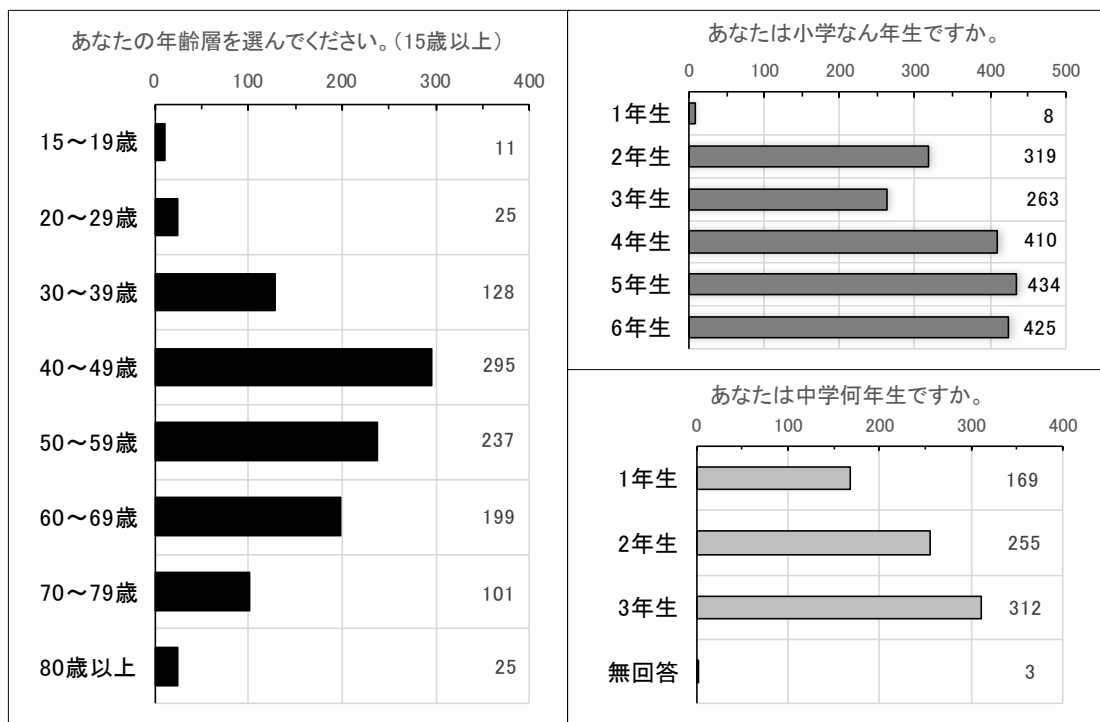
町名	登録者数	人口	登録率	町名	登録者数	人口	登録率
田無町	1,934	13,985	13.83%	保谷町	1,925	12,419	15.50%
南町	2,182	12,680	17.21%	富士町	1,660	11,742	14.14%
西原町	847	6,878	12.31%	中町	999	7,496	13.33%
緑町	507	3,857	13.14%	東町	1,430	8,539	16.75%
谷戸町	2,706	14,049	19.26%	泉町	1,280	8,890	14.40%
北原町	625	4,217	14.82%	住吉町	1,259	7,204	17.48%
向台町	2,312	14,696	15.73%	ひばりが丘	1,434	10,433	13.74%
芝久保町	2,705	20,423	13.24%	ひばりが丘北	713	4,636	15.38%
新町	813	8,973	9.06%	栄町	738	4,373	16.88%
柳沢	1,714	11,183	15.33%	北町	921	5,970	15.43%
東伏見	592	5,017	11.80%	下保谷	1,439	8,283	17.37%
				西東京市計	30,735	205,943	14.92%

町別の登録率においては、谷戸図書館とひばりが丘図書館の徒歩圏内を占める谷戸町が登録者数及び登録率として最も高く、中央図書館と芝久保図書館が徒歩圏内となる芝久保町が登録者数として２番目に多いことが分かります。

2 利用者アンケートにおける図書館への評価と新たな課題

本計画を策定するにあたり、図書館サービス等について、図書館利用の有無にかかわらず、小学生以上の意識及び実態等を把握することを目的として、アンケート調査を一般（15歳以上）は、令和5年3月19日（日）から同年4月24日（月）まで、市内小学校及び中学校の児童・生徒は、同年4月10日（月）から24日（月）までの期間で実施しました。

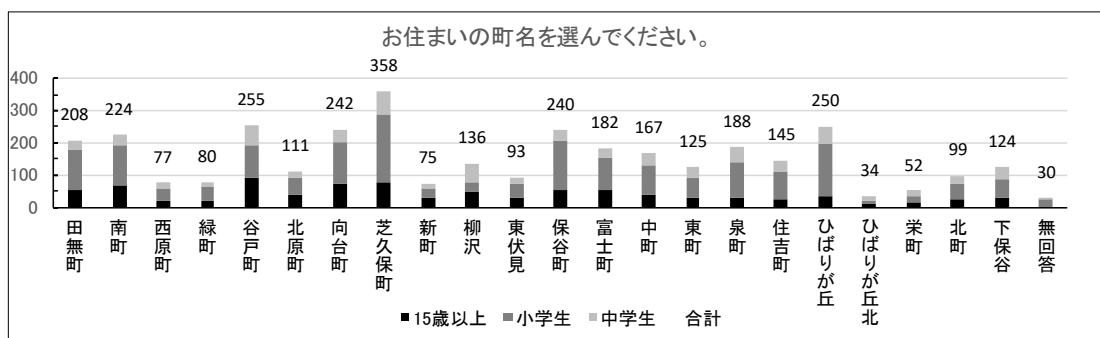
図書館利用に関するアンケートとして、インターネットサイトの Logo フォームによる回答、又は記述提出用紙への記述による回答方法で実施し、15歳以上からは、1,018人、小学生からは、1,859人、中学生からは、739人から回答がありました。一般の回答者の年齢階層、小学生及び中学生の学年は次のとおりです。

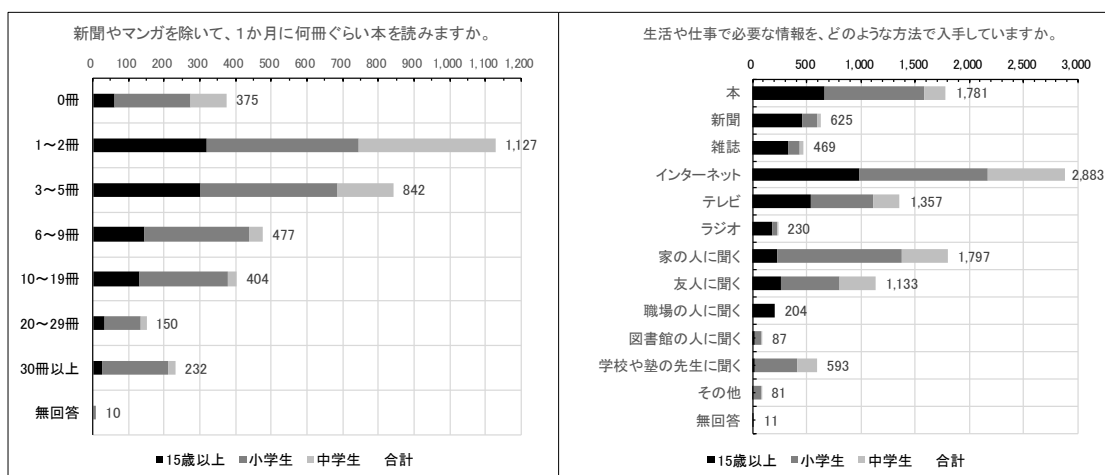


15歳以上のアンケート調査の回答者として、最も回答した年齢層として、「40～49歳」で全体の約3割を占め、小学生及び中学生ともに高学年になるほど、回答者が多いことが分かります。

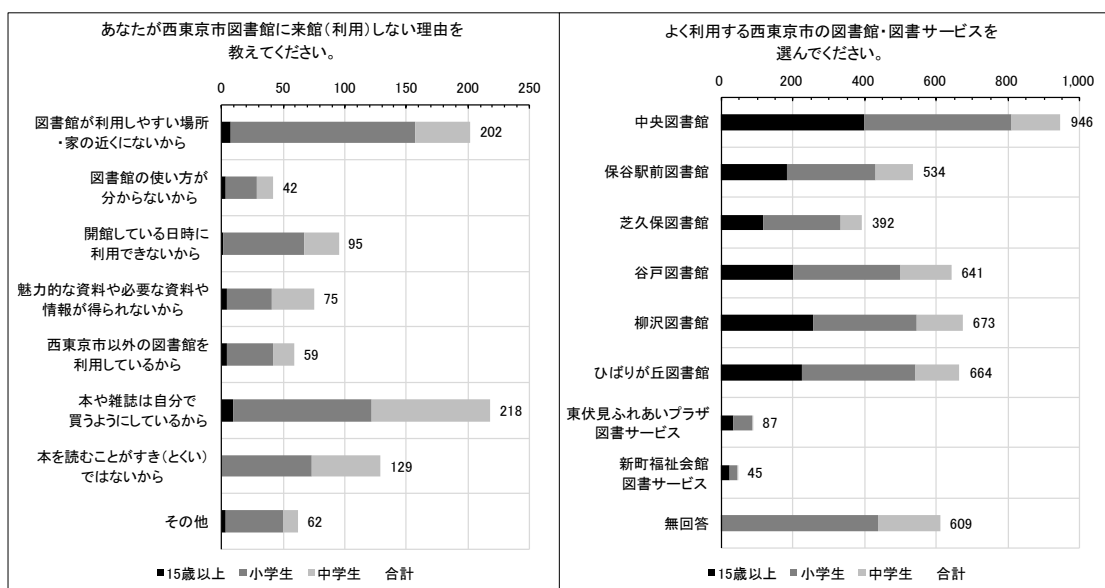
全アンケート項目から抜粋した内容の結果は、次項のとおりです。

(1) 一般（15歳以上）、小学生及び中学生への共通質問のアンケート結果



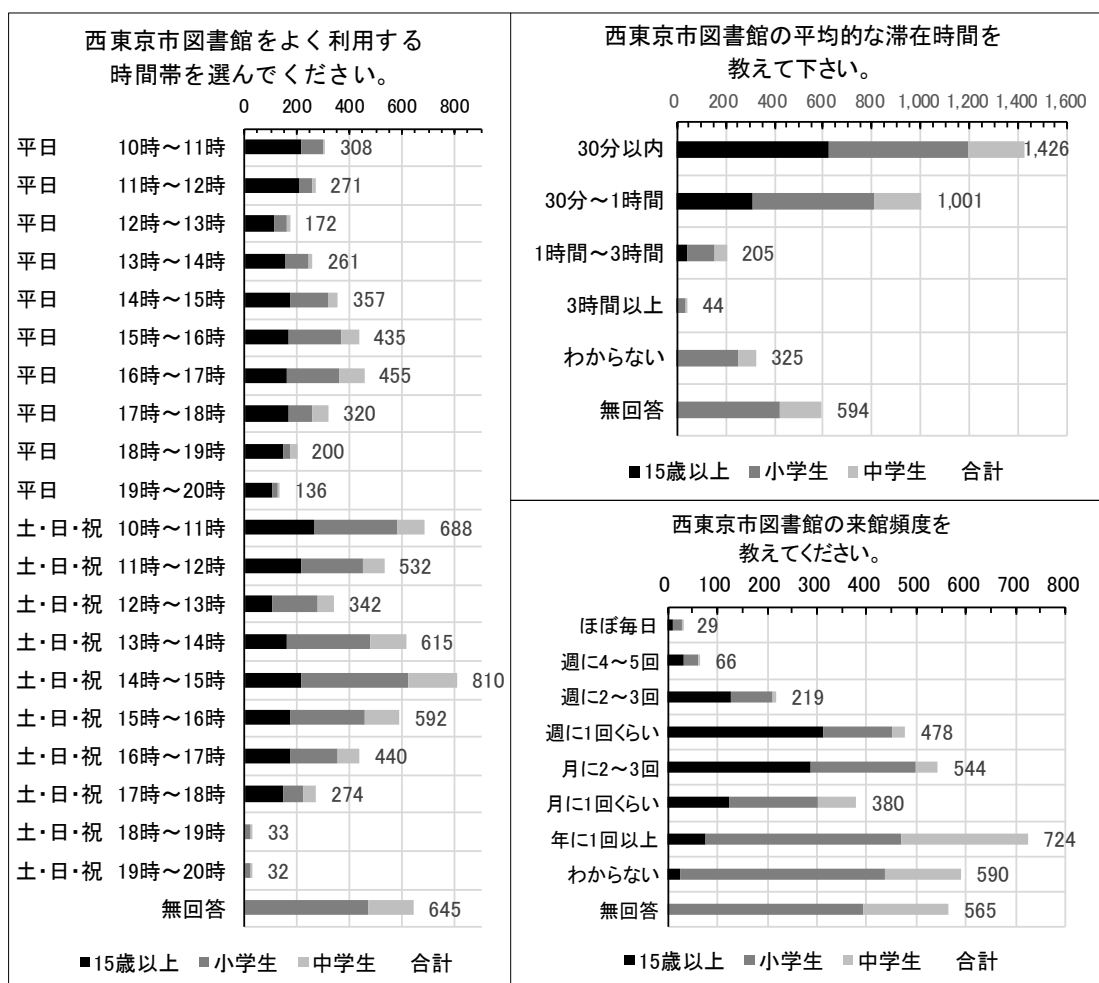


読書を月に1冊から5冊程度、図書館や書店又はインターネットにて本を手にとっていることが分かります。また、インターネットが発展した現代にあって、パソコンやスマートフォン等から情報を得ているだけでなく、紙媒体である本、新聞、雑誌から情報を得ていることが分かります。

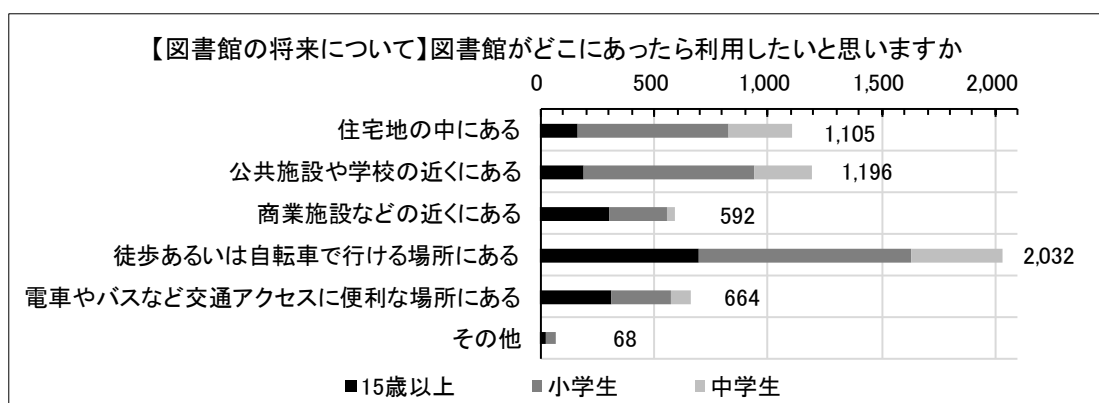


今回のアンケート回答者のほとんど方は、図書館への来館(利用)の経験があるものの、来館(利用)されない市民の方々が揚げた理由として、自身で本等を購入する方を除き、利用しやすい身近に図書館がない理由が最も多いことが分かります。一方で、地域の身近な図書館に来館した結果が西東京市内町別の登録状況に表れています。

挿絵

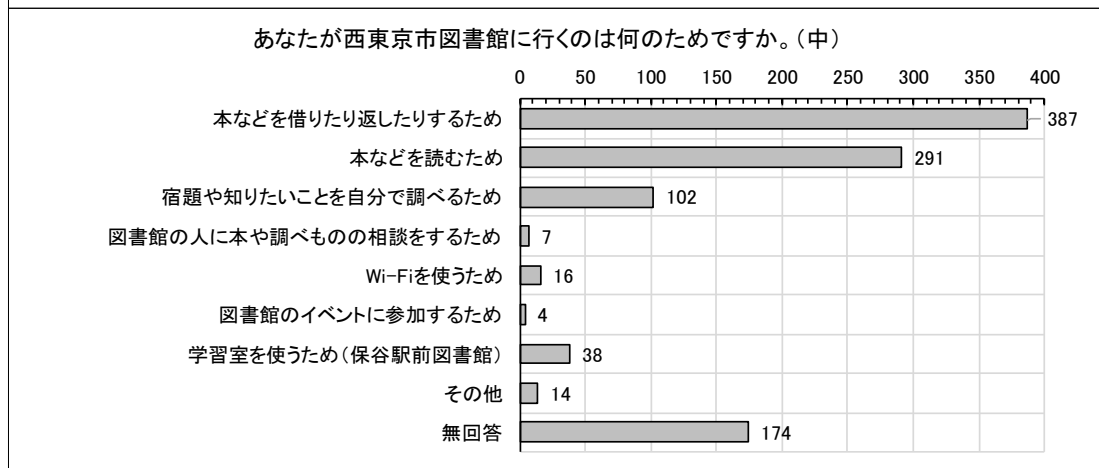
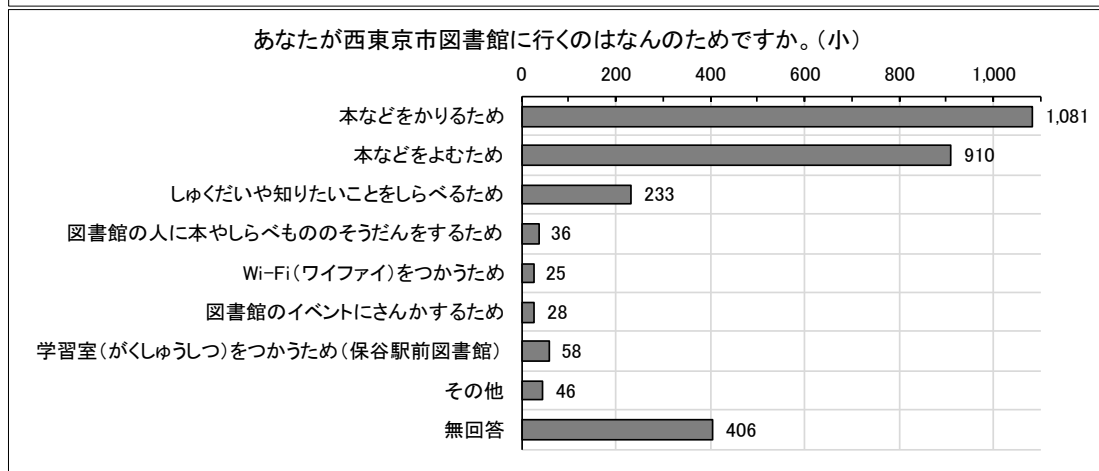
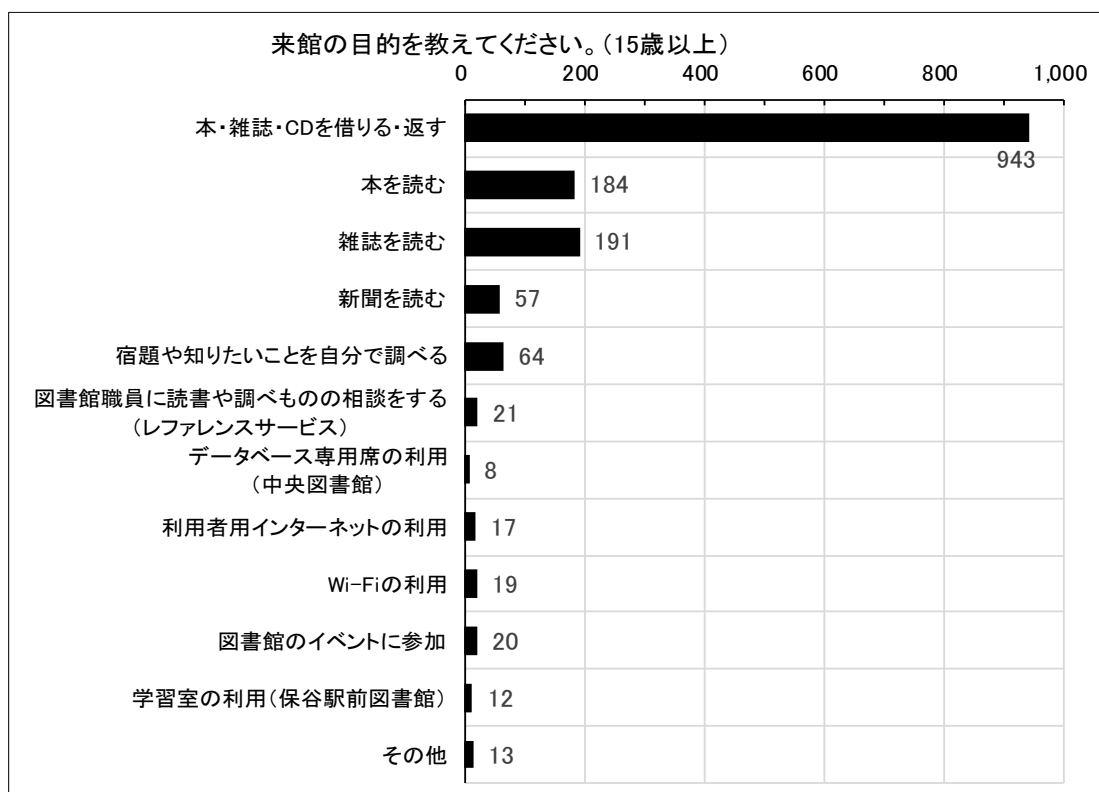


15歳以上の図書館の利用形態としては、週に1度又は月に2、3回程度の来館で1時間以内の利用時間であり、主に土曜日、日曜日、祝日の午前中に利用していることが分かります。一方で、小学生及び中学生は月に1回未満の来館で1時間以内の利用時間であり、主に土曜日、日曜日、祝日の午前10時から午後4時までが最も利用していることが分かります。

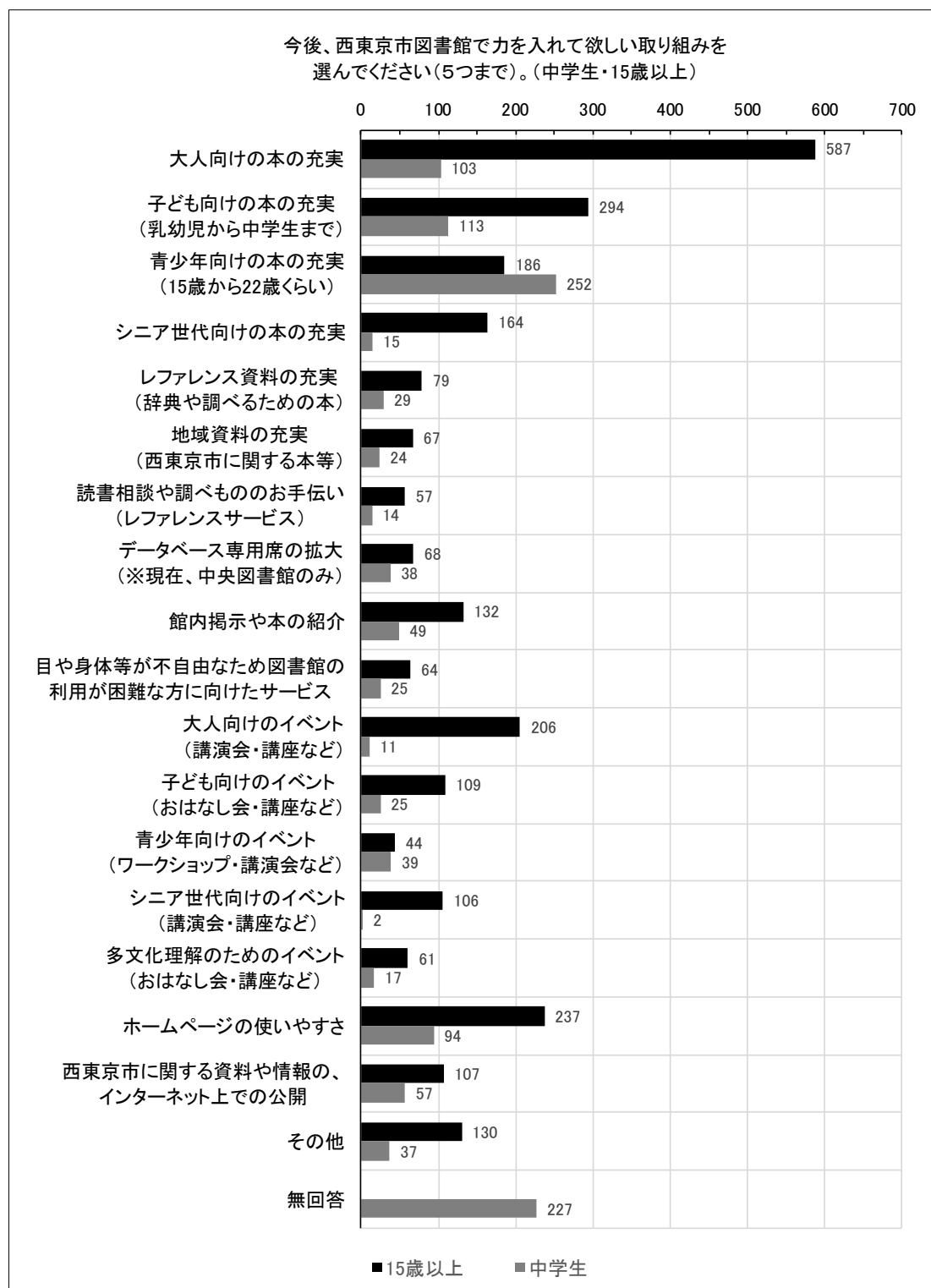


世代にかかわらず、図書館の場所として身近にあることが望まれています。

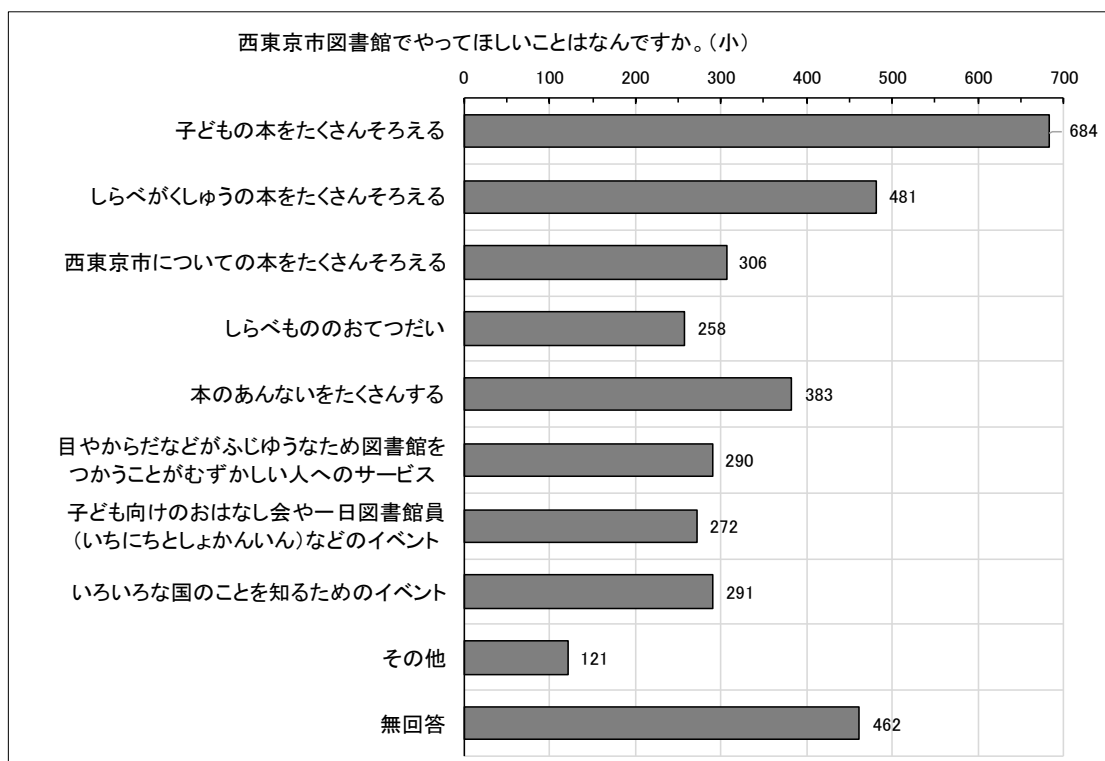
- (2) 一般（15歳以上）、小学生及び中学生へそれぞれ質問・選択肢が異なる、又は中学生以上への質問、小学生及び中学生のみの質問に対するアンケート結果



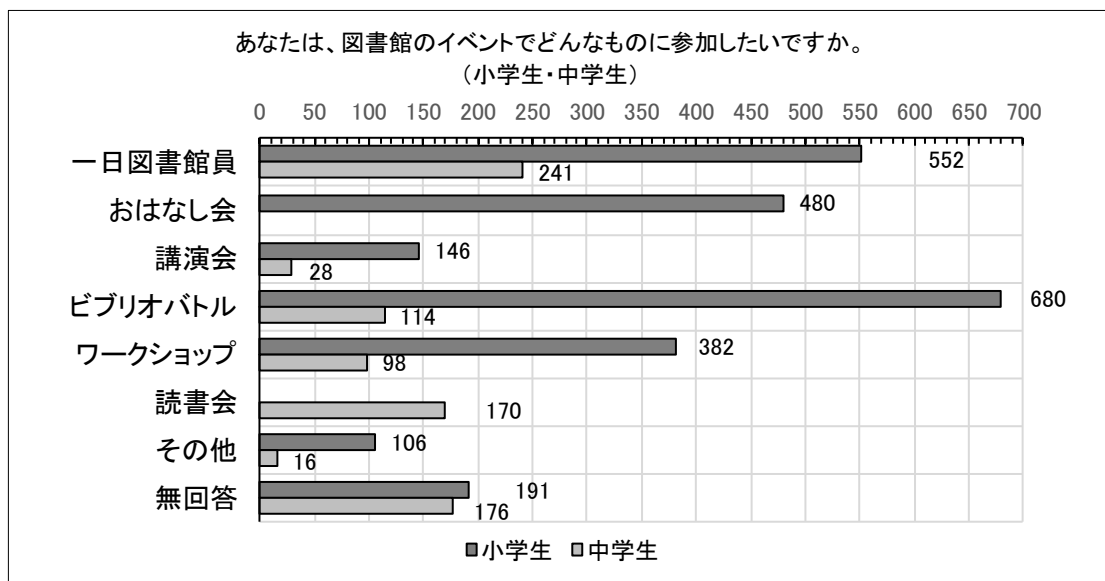
前頁の図書館を利用又は来館する目的についての回答は、世代にかかわらず、本を借りる、返す、読むための本が多く、世代によって異なる点は見受けられません。



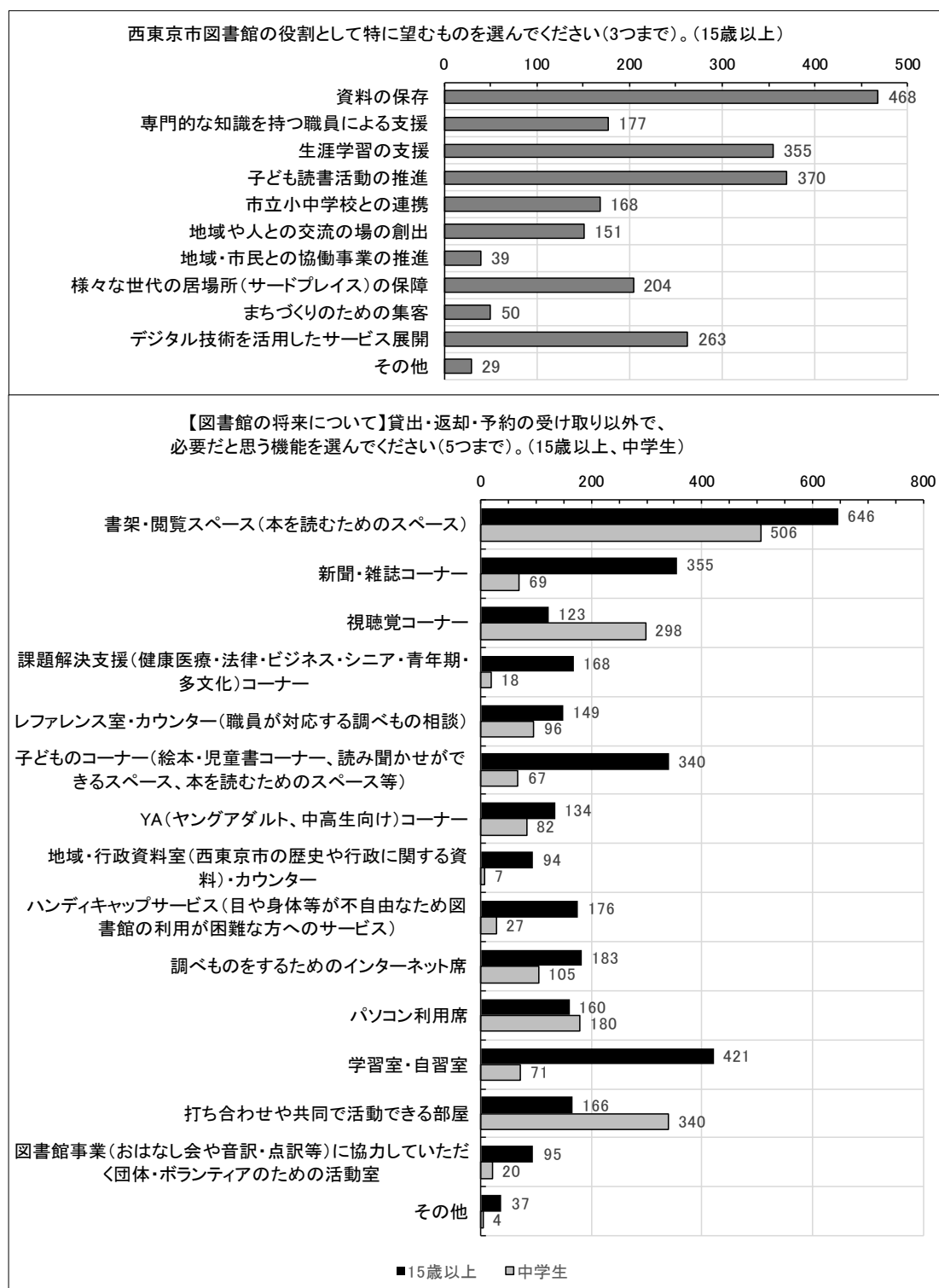
15歳以上及び中学生が図書館に力を入れて欲しいサービスとしては、本の充実が最も多いことが分かります。また、「ホームページの使いやすさ」については、15歳以上と中学生とでは、15歳以上が3番目に望むことになっており、世代によって差異があることが分かります。



選択肢が異なりますが、小学生への同様の質問においても、力を入れて欲しいサービスとしては、本の充実が最も多いことが分かります。



小学生及び中学生が参加したいイベントとして、一日図書館員、ビブリオバトルやワークショップが多いことが分かります。(「おはなし会」は小学生のみ、「読書会」は中学生のみの選択肢となっています。)



今後の図書館に役割として特に望むことは、資料が保存され、生涯学習の支援、子ども読書活動に取り組み、また、貸出・返却・予約以外に最も望まれる機能として、大人、子ども向けの本を読むためのスペースであり、次に図書館内にある学習室・自習室が望まれてことは、短時間の利用ではなく、ある程度の時間、図書館で読書や勉強ができ、ゆっくりと過ごすことができる施設機能が望まれていることが推察されます。

また、アンケートの選択肢以外に記入できる「その他」、「自由意見」の詳細については、図書館ホームページに掲載していますのでご参照ください。

第4章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

基本理念については、平成 21 年度に策定した「西東京市図書館基本計画・展望計画」及び前図書館計画の基本理念を継承します。

《市民とともに学び、考え、成長する図書館をめざします》

西東京市図書館は、市民のひとりひとりが自ら学び、考え、成長し、決定し、自らの責任で行動するために必要とされる知識や情報を分け隔てなく市民すべてに提供する公共サービス機関として、時代に適合した品質の高いサービス提供に積極的に取り組み、成長する図書館であり続けます。

2 基本方針

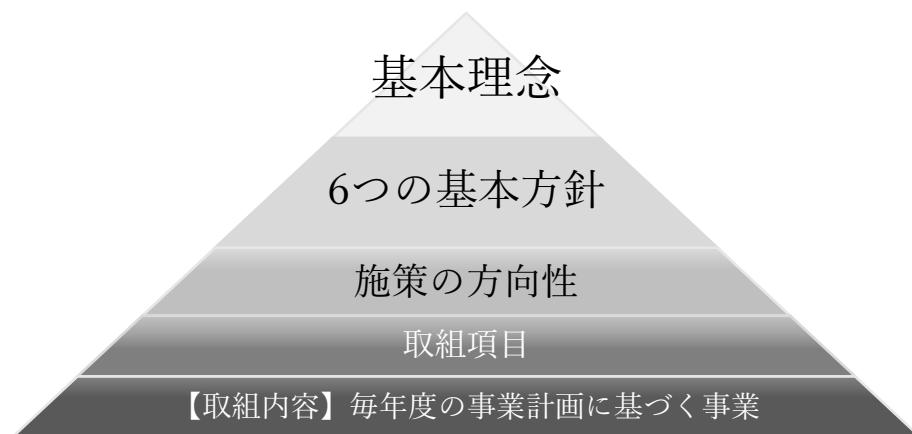
前図書館計画にて様々な事業に取り組んだ結果、解決できていない課題やこれからの時代に図書館に求められている要望等を踏まえて、本計画では、前図書館計画の6つの基本方針の理念を継承しつつ、実現に向けて1から6までの基本方針として、次のとおり定め、それぞれの基本方針に沿った施策の方向性を示します。

- 【基本方針1】 資料の収集と保存を充実するために
- 【基本方針2】 すべての市民に活用されるために
- 【基本方針3】 西東京市の文化・歴史を次世代に継承するために
- 【基本方針4】 未来を担う子どもの読書活動を支援するために
- 【基本方針5】 地域との協働・行政との連携を構築・向上するために
- 【基本方針6】 図書館の運営体制・サービス基盤を充実させるために

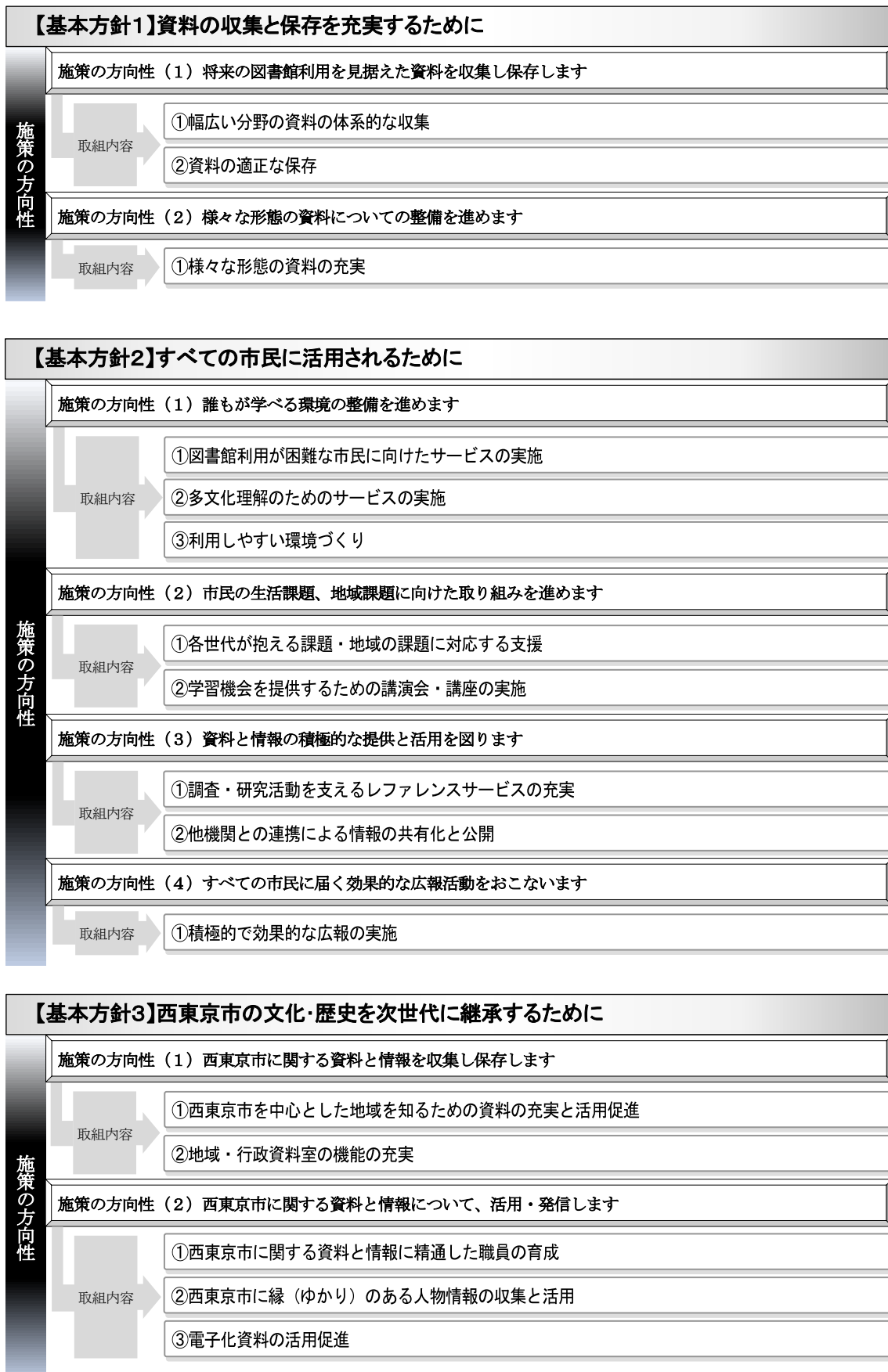
3 計画の体系

「基本理念」に基づく6つの基本方針ごとに「施策の方向性」を示し、それぞれの「施策の方向性」を実行するための体系として、「取組項目」を位置づけています。

そして、「取組項目」ごとに取り組むべき内容である「取組内容」を設け、計画的に取り組む内容として、毎年度の事業計画に反映し、図書館事業として実施していきます。



<計画の体系図>



【基本方針4】未来を担う子どもの読書活動を支援するために	
施策の方向性	施策の方向性（１）いつでもどこでも子どもが本に出会えるきっかけをつくります 取組内容 ①魅力ある書架づくりと提供方法の工夫 ②市民、関係団体、関係機関との連携・支援
	施策の方向性（２）子どもの成長に沿った取組みを進めます 取組内容 ①乳幼児と保護者の読書活動の推進 ②小学生の読書活動の推進 ③ＹＡ（ヤングアダルト）世代の読書活動の推進
	施策の方向性（３）小・中学校との連携・協力・支援を進めます 取組内容 ①小・中学校・学校図書館への支援 ②保護者、ＰＴＡとの連携と支援
【基本方針5】地域との協働・行政との連携を構築・向上するために	
施策の方向性	施策の方向性（１）地域で活動する市民、団体の活動を支援します 取組内容 ①市民、団体との連携・協働 ②武蔵野大学との連携
	施策の方向性（２）他自治体の図書館や市の他部局との連携を図ります 取組内容 ①近隣自治体とのネットワーク ②地域や行政との連携
	施策の方向性（３）ボランティアの拡大を推進します 取組内容 ①協力員・ボランティアの育成及び活動の推進
【基本方針6】図書館の運営体制・サービス基盤を充実させるために	
施策の方向性	施策の方向性（１）職員の専門性の向上を目指します 取組内容 ①職員の専門知識、技能向上を目指す取組 ②専門性の高い職員集団の育成による組織強化
	施策の方向性（２）図書館間のネットワーク維持及び将来的な図書館の在り方の検討 取組内容 ①中央図書館と地域館の機能及び役割について ②将来的な図書館の在り方について ③図書館システムの向上
	施策の方向性（３）計画の効果的な進行管理と市民要望の反映に取り組みます 取組内容 ①年度ごとの事業計画の作成と実施に伴う進行管理について ②市民（利用者）からの意見・要望等について